



二松學舎大學



世界を知ることがグローバルシチズンへの第一歩。

海外留学の手引き 2025



今こそ留学しよう！

学長からのメッセージ

皆さん、こんにちは。

私たちは、国境を越えた課題が山積する21世紀を生きています。気候変動、戦争、少子化、貧困といった地球規模の問題を解決するためには、一人ひとりが「地球市民」として互いに協力し合うことが求められます。

このような中で、留学は皆さんにとって大きな意義を持つ挑戦です。

留学を通じて、異なる文化や価値観に触れることは、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」世界を理解するために必要な視点と行動力を身につける機会となります。他国のの人々と交流し、現地の課題や取り組みに触れることで、持続可能な未来を築くために何ができるのかを考えるきっかけとなるでしょう。

国外にでることは不安や困難を伴うかもしれませんが、国外には全く出ないということではとても不安です。社会にでる前段階の大学生の時期は、知力も体力も充実していて、多くを学ぶ適切な時期です。

海外での経験によって、新しい夢や風景が見えてきます。かつて眺めていた国内の日常風景も違って見えてくるはず。本学では、皆さんが海外へ踏み出す一歩を全力で応援し、必要なサポートを惜しみません。

ぜひ海外留学に挑戦してください。

二松学舎大学
学長 佐藤 晋



海外留学の手引き 2025

目次

- 04 二松学舎大学のグローバルネットワーク
- 06 VOICE1 | 先輩たちの留学レポート
- 10 入学直後から計画をたてよう 留学までのステップ
- 12 2025年度 短期海外語学研修プログラム
サンフランシスコ州立大学/ケンブリッジ大学ホマートンカレッジ/サザンクロス大学/
フレーザーバレー大学/アジアパシフィック大学/北京大学/国立台湾師範大学/高麗大学校/建国大学校
- 16 VOICE2 | 派遣留学生にきく体験談【韓国編】
- 18 2026年度 交換留学プログラム
サンフランシスコ州立大学/バッキンガム大学/サザンクロス大学/フレーザーバレー大学/銘伝大学/
北京大学/周口師範学院/中国文化大学/成均館大学校/建国大学校
- 26 国際交流センターのサポート
- 27 代表的な語学力テスト・外国語課外講座他
- 28 海外での危機管理と注意点について
- 29 よくある質問
- 31 交換留学プログラムにおける規程集
(奨学金・助成制度・単位認定・ゼミナールの履修について等)

感染症等にかかる海外渡航制限措置について

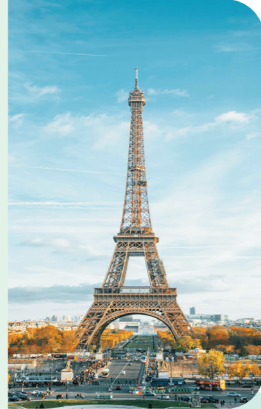
新型の感染症に関して、その感染拡大防止の観点から日本はもとより世界中で様々な対策がとられています。特に留学等に関しては、慎重な対応が必要になります。このため、状況によっては、交換留学や短期海外語学研修について、この「海外留学の手引き」に記載された内容が変更（日程変更や中止など）される場合があります。また、現地に渡航後の留学や短期研修中に、本学から日本への帰国命令等が出される場合も考えられます。交換留学や短期海外語学研修をお考えの学生の皆さんは、これらのことをあらかじめ承知しておいてください。

※交換留学や短期海外語学研修の実施内容の変更等に関する情報については、国際交流センターから随時発表されます。

グローバル ネットワーク

フランス

西ヨーロッパに位置する国で、パリを首都とし、豊かな文化と歴史を誇ります。美術、ファッション、グルメなど多くの魅力があり、観光地としても人気があります。



英国

北西ヨーロッパに位置する島国です。首都はロンドンで、金融、文化、政治の中心地として知られています。英語を公用語とし、文学や音楽などで豊かな文化を誇ります。



本川さん

多くの新しい経験ができ、語学力以外にもさまざまな面で成長できました

続きは7ページへ



中国

首都は北京で、上海や広州も経済的に重要な都市です。歴史は古く、万里の長城や故宮などの名所が残っています。書道や絵画などの伝統的な芸術も発展しています。



山下さん

多くの友人と出会い、国際的な人脈を築けたことが大きな収穫でした

続きは9ページへ



カナダ

世界第2位の広大な国土を持ち、10の州と3つの準州から成るカナダでは200を超える民族文化が調和しています。英語とフランス語を公用語としています。



イタリア

ローマ、フィレンツェ、ヴェネツィアなど名所が豊富で、歴史と文化がある美しい国です。パスタやピザ、ジェラートなどの美味しい食文化も魅力のひとつです。



韓国

日本の隣国で、首都はソウル。歴史と文化、先進的な技術、多彩なエンターテインメントが魅力です。伝統的な宮殿や寺院があり、歴史と現代が融合しています。



吉田さん

流行りの話題や内容を交えながら、楽しく韓国語を学ぶことができました

続きは8ページへ



林さん

言葉の壁や新しい環境に対する不安もありましたが、次第に自信に変わりました

続きは8ページへ

アメリカ

50の州から成る広大な国で、首都はワシントンD.C.です。世界最大の経済大国で、テクノロジー、映画、音楽、ファッションなどがグローバルに影響を与えています。



斉藤さん

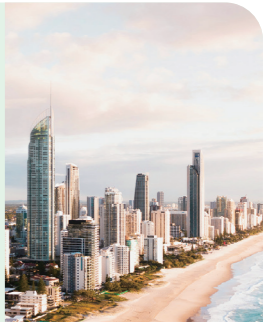
日本とは違う文化に驚くことがたくさんあり、どれも貴重な体験でした

続きは6ページへ



オーストラリア

南半球に位置する大陸国で、砂漠、森林、山脈、ビーチなどの自然が広がっています。英語を公用語とし、観光業、農業、鉱業などが重要な産業です。



美川さん

多くの人と交流ができ、日本では感じることのできないような人の温かさに触れることができました

続きは7ページへ

マレーシア

東南アジアに位置する多民族・多文化の国で、首都はクアラルンプール。食文化では、マレー、中国、インドの料理が融合したユニークな料理が楽しめます。



台湾

東アジアに位置しており、首都の台北は、古きよき台湾文化と現代的な都市生活が融合する中心地です。食文化も豊かで、特に夜市文化が有名です。



藤井さん

現地で台湾人と直接関わり、有意義な時間を過ごすことができました

続きは9ページへ



留学が可能な海外大学・交流のある大学

● 短期海外語学研修 ● 大学院生のみ対象の派遣留学
● 派遣留学 ※留学先は変更になることがあります

英語で留学できる

- サンフランシスコ州立大学 (アメリカ) ●●
- ケンブリッジ大学 (英国) ●
- バックingham大学 (英国) ●
- サザンクロス大学 (オーストラリア) ●●
- フレージャーバレー大学 (カナダ) ●●
- 銘伝大学 (台湾) ●
- アジアパシフィック大学 (マレーシア) ●

韓国語で留学できる

- 高麗大学校 (韓国) ●
- 建国大学校 (韓国) ●●
- 成均館大学校 (韓国) ●

中国語で留学できる

- 北京大学 (中国) ●●
- 浙江工商大学 (中国) ●●
- 周口師範学院 (中国) ●●
- 中国文化大学 (台湾) ●●
- 国立台湾師範大学 (台湾) ●

その他の言語および大学院

- ボルドー・モンテーニュ大学 (フランス) ●
- リール大学 (フランス) ●
- カ・フォスカリ大学 (イタリア) ●
- エトヴェシュ・ロラント大学 (ハンガリー) ●

その他交流のある大学

- 温州大学 (中国)
- 嘉興大学 (中国)
- 河北科技大学 (中国)
- 河北民族師範学院 (中国)
- 河南大学 (中国)
- 江西師範大学 (中国)
- 山東大学 (中国)
- 山東財経大学 (中国)
- 四川外国語大学 (中国)
- 紹興文理学院 (中国)
- 浙江越秀外国語学院 (中国)
- 浙江外国語大学 (中国)
- 浙江財経大学 (中国)
- 浙江財経大学東方学院 (中国)
- 浙江大学寧波理工学院 (中国)
- 浙江農林大学 (中国)
- 浙大城市学院 (中国)
- 鄭州大学 (中国)
- 德州学院 (中国)
- 寧波工程学院 (中国)
- 聊城大学 (中国)
- 魯東大学 (中国)
- 文藻外語大学 (台湾)
- 釜山大学校 (韓国)

先輩たちの 留学レポート

現地での生活、授業の内容やこうしておけばよかったことなど、いったいどんな留学生活を送っていたのか、帰国した7人のリアルな声をお届けします。

アメリカ

短期海外語学研修
サンフランシスコ州立大学
斉藤 柚子 さん
国際政治経済学部 2年生 (留学当時)



留学を決めたきっかけ

もともと海外には行ってみたいという気持ちがありました。今まで海外に行ったことがなく、将来のやりたいことも決まっていなかったのですが、二松学舎大学の留学制度が後押しとなり、自分の視野を広げるためにも留学を決意しました。

サンフランシスコでの生活

学校がある日は18時ごろに帰宅していました。サンフランシスコは20時ごろまではまだ明るく、気候も日本とは違い雨も少なく、過ごしやすかったです。ホームステイ先では、ホストファミリーにとっても親切にしてくださいました。最初は会話をするのが難しかったのですが、たくさん話しかけてくれたので、英語を話すことが楽しくなりました。週末にはいろいろな場所を紹介してくれて、いっしょにビーチに行ったり、バスケットを見たり、買い物をしたり、素敵な思い出がたくさんあります。



英語にたくさん触れ、自信ができました

日本とは違う文化におどろくことがたくさんあり、貴重な体験がたくさんできました。授業や授業外でも、現地のサポート学生と接する機会が多く、そこでの会話で今まで知らなかった単語や発音を学びました。英語に自信がなかなかでもわかる範囲で話してみると、間違ったところは指摘してくれるので、話してみようという気持ちになりました。そのおかげでどんどん自信が持てるようになりました。先生は、優しくとてもおもしろかったです。クラスメートも優しい人ばかりですぐに仲良くなれました。留学を通して、自分から話しかける積極性が身につく、リスニング力も上がりました。

英語のスキルを上げるには

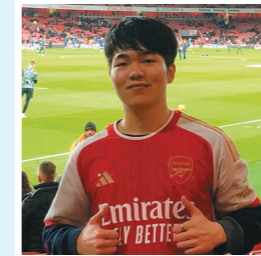
事前にできるだけ多くの英語の映画や音楽、ラジオなどを聴いて英語に耳を慣れさせておけば良かったと思います。また、わからない単語はすぐに調べて覚えることも大事です。単語を知っていても発音がわからないと言葉に出せないで、しっかりと聞き、声に出して読むようにしていました。

留学を悩んでいる方へ

留学は確実に一生の経験になるし、良い刺激を受けることができますので、したいと思ったら行ったほうが良いと思います。留学に行くことで視野が広がり、やりたいことが見つかるかもしれないし、そうでなくてもたくさんの学びが得られます。私は、コミュニケーションの楽しさを知り、それと同時に英語能力を向上させることができました。英語に自信がなくても話していくうちに自信がつかますし、新しい発見ができ、語学以外にも自分を大きく成長させることができます。少しでも興味があったら、一歩を踏み出してコミュニケーションの楽しさを感じてみてください！

英国

派遣留学
バッキンガム大学
本川 祐太 さん
国際政治経済学部 3年生 (留学当時)



留学生同士の交流も良い経験に

世界中から学生が集まっているバッキンガム大学に魅力を感じ、留学先を決めました。イギリス人だけでなくさまざまなバックグラウンドを持った学生に出会い、自分とはまったく違う文化や考え方に触れることができました。友だちとお互いに自国の料理を作って食べたのですが、インド人が作ってくれたカレーがとても辛くて汗をかきながら食べたことも、印象に残る思い出です。授業では英国の法、政治、経済の基礎や英語での論文の書き方などを幅広く履修しました。科目ごとに講義形式のレクチャーと少人数クラスで議論を行うチュートリアルがあり、ヨーロッパ、アフリカ、アジアなどさまざまな国の学生と共に学びました。

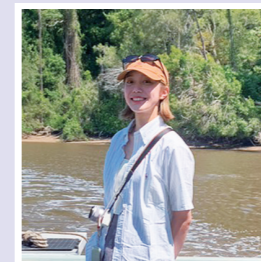


授業以外も充実

大学のキャンパス内にある寮に住んでいました。窓からリスなどの動物が見られ、自然を感じられる落ち着いた雰囲気のある場所です。週末は大学のイベントに参加したりオックスフォードなどの近くの街に出かけたりしていました。大学の休み期間に周辺のヨーロッパの国々に気軽に旅行に行けるのも英国留学の魅力だと思います。英国からユーロスターという電車に乗り、片道約1時間半でフランスに行くことができます。また、もしサッカーファンであれば、プレミアリーグの現地のスタジアム観戦は本当におすすめです！

オーストラリア

短期海外語学研修
サザンクロス大学
美川 琴音 さん
国際政治経済学部 2年生 (留学当時)



間違えても大丈夫

文法をある程度理解し、ネイティブキャンプやリスニング学習を毎日欠かさず行っていたので留学に行きましたが、現地の英語ははるかにスピード感があり、テンポがとても速かったです。しかし、自分からわからないことや聞き取れなかったことは相手に聞いたり素直にわからないと答えたりすることでそこからまた話も深まりました。間違えた言葉や文法を使っても、周りのネイティブスピーカーが正してくれるという恵まれた環境にいる以上、たくさん間違えようと思うようにして、自分を高める気持ちを持ち続けていました。また、正しい発音をしないと相手にその単語を理解してもらえないことも体感し、勉強になりました。



一日一日を大切に過ごせました

ホストファミリーにとっても優しくしていただき、オーストラリアならではのBBQや、マザーの手作り料理など、現地の食文化を体験できました。家族のみんが、私を楽しませようと週末の予定を念入りに考えてくれて、その気持ちも嬉しかったです。さまざまな場所で日本では感じることでできない人の温かさに触れ、ホームシックになることなく過ごせました。3週間という短期の留学がただの旅行にならないように、自分の英語学習の計画を立てることで、留学の目的がはっきりすると思います。留学を通して一生の思い出と出会いと経験ができ、自分に自信が持てるようになりました。後悔は何もありません。

韓国

短期海外語学研修

高麗大学校

吉田 侑以 さん

文学部 2 年生 (留学当時)



学校での日常について

平日は電車で学校に行き、9時から授業がスタートします。火曜日と木曜日は16時まで授業があり、お昼休憩に学校の敷地内のカフェやコンビニで食事を済ませ、午後の特別授業を受けるというスケジュールでした。放課後に出かけることもあり、現地の学生生活を満喫できました。私のクラスは宿題はなかったのですが、中間テストやプログラムの期末には書く・聞く・読む・話すテストがあり、クラスメートと教えあっていました。先生はとてもフレンドリーで、流行りの話題や内容を交えながら楽しく韓国語を学びました。すべて韓国語での授業なので、リスニング能力はるかに上がりました。

現地の人との交流

ホームステイ先では土日には親戚がたくさん集まっていたので、親戚の同世代の子たちと仲良くなりました。いっしょに韓国料理を食べたり、ショッピング

ングやおしゃれなカフェに行ったりして、文化交流ができました。ホームステイをすることで現地の人の生活を体験できるので、とても良かったです。

留学の魅力

韓国語を使う仕事に就きたいという目標があり、韓国語の実力を上げ、現地でしか学べないことや生活しなければわからないことなどを知りたいと思い、留学を決めました。日本だと実際に韓国語を使う機会がほとんどなかったので、留学をしてみてもアウトプットの大切さを感じました。韓国に着いて何日かは耳がまだ慣れておらず、聞き取れなかったり、言いたいことをまず日本語にして翻訳しながら話したりしましたが、日が経つにつれて、スムーズな会話ができるようになりました。海外をひとりで歩いたり、地下鉄に乗るといった経験もはじめてで最初は緊張しましたが、今ではどこにでも行けるようになったので、行動力が上がったと思います。実際に現地で生活し、現地の人との会話をする中で、自信にもつながりました。すてきな出会いや貴重な経験ができ、日本で得られないものがたくさん得られるのが留学の魅力だと感じています。

これから留学する方へのアドバイス

出会う人たちはみんな優しくすてきな人ばかりなので、たくさん話しかけて韓国語を話す練習をすることをおすすめします。出発時の時点で韓国語に自信がなくてもそこまで心配する必要はありません。韓国での生活はとても楽しいので、もし迷っていたら、行くべきだと思います！

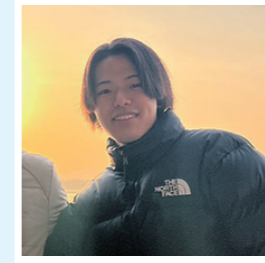
中国

派遣留学

北京大学

山下 欧雅 さん

文学部 3 年生 (留学当時)



授業や生活を通しての学び

北京大学での1年間は私にとって非常に貴重な経験となりました。前期には週5日の中国語の授業があり、自分の中国語力を大いに向上させることができました。後期にはどの学部も選択できたので、専門知識を深め、幅広い学問分野に触れることができました。毎日の授業と、友人との会話により日常的に中国語を使う習慣が身についたことで、最終的には自然な会話ができるようになり、中国語でのコミュニケーションに自信が持てるようになりました。

留学生寮での過ごし方

滞在先は北京大学の留学生寮で、ルームメイトは中国人でした。寮は多国籍な学生たちの交流の場でもあり、さまざまな学生と語り合うことができたため、多様な価値観を学ぶ機会になりました。

中国人学生との交流

アジア青年交流プログラムに参加し、たくさんのイベントで中国人学生と交流したことが留学生生活をさらに豊かなものにしてくれました。広大なキャンパスでのピクニックや、中秋節に月餅作りを体験し、伝統的な中国文化に触れる機会がありました。また、名所遺跡や博物館を訪れたことで、中国の歴史への理解を深めることもできました。これらの活動を通じて、異なるバックグラウンドを持つ仲間と深い絆を築き、お互いを尊重し合うことの大切さを学びました。多くの友人と出会い、国際的な人脈を築けたことも大きな収穫です。この留学経験で得た知識やスキルを、今後の学業やキャリアに活かしたいと思います。

韓国

短期海外語学研修

建国大学校

林 七咲 さん

文学部 3 年生 (留学当時)



整った環境で生活できました

留学先の魅力は、何と言ってもその土地ならではの文化と風景です。たとえば、広大なキャンパス内にある美しい池や、便利な交通機関、にぎやかな駅前のデパートやおいしいお店など、生活の質を高める環境が整っていました。現地の友だちと訪れたレストランや観光地での楽しい時間は、語学の勉強だけでなく、貴重な経験となりました。また、共に学び、困難を乗り越えた仲間との絆は今でも大切な思い出として心に残っています。

学校での学びについて

韓国語の実力に応じてクラスが振り分けられるため、たとえ韓国語をゼロから始める人でも安心してついていける環境でした。授業はすべて韓国語で行われますが、先生が丁寧に説明してくれるので理解しやすかったです。現地での実践的な学びが、自信を持って言語を使う成長の一歩となりました。

留学してよかったこと

まず、現地の言語を日常的に使うことで、語学スキルが飛躍的に向上します。授業で学んだことを、食事を注文する際に実際に使ってみることで、自然にアウトプットする機会を得られました。最初は言語の壁や新しい環境に対する不安もありましたが、異文化に触れることで視野が広がり、柔軟な考え方が身についたり、新しい視点を獲得できました。また、日本での生活と異なる環境での生活は、問題解決能力や自立心を養い、自分自身を成長させることができます。留学前に抱いていた期待以上の学びと成長を得られたことに、心から満足しています。もし留学を考えている人がいるならば、迷わず挑戦してほしいと強く思います。

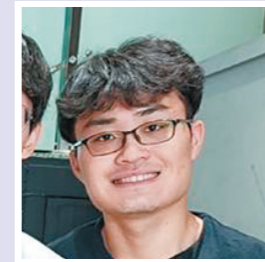
台湾

派遣留学

中国文化大学

藤井 哲也 さん

文学部 3 年生 (留学当時)



コロナ渦やオンライン留学を経て

高校生のときにカリキュラムとして中国語圏に留学する予定だったのですが、コロナウィルスの影響によって断念したことがあり、大学でも中国語を続け、留学に行きたいと考えていました。オンライン留学も経験しましたが、実際に現地に足を運びたい思いがありました。

現地に行ってもよかったこと

おもに2つあります。ひとつめは、中国語が上達したことです。学校では、わからないところがあつた際は気軽に先生に質問ができる環境がありました。ふたつめは、台湾人と関わり時間を共にできたことです。間近で台湾人独特の思考を知れたほか、自分が思っていた以上に台湾人は日本のことを理解しようとしていると感じました。これらの経験を通して、改めて自分を見直す機会にもなりました。

出会った人たちとの思い出

台湾の友だちにお勧めを聞き、いっしょにそのお店に行ってお飯を食べるということをしていました。それぞれに好きなものが違っておもしろく、またどれもおいしかったので食べに行くのが楽しみでした。その他には桃園にある水族館に行ったり、六福村という広大な遊園地に行ったりしました。日本食のお店も多かったです。

これから留学する人へのアドバイス

留学直後は、緊張と不安でなかなか周りとのコミュニケーションがとれませんでした。今ではもったいない時間を過ごしてしまったと思っています。はじめはどうしても緊張してしまうと思いますが、まずは友だちを作り、中国語に慣れてしまえば、生活が楽しくなります。台湾には日本語を勉強している学生も珍しくないの、日本に興味のある友だちを作るのもおすすめです。

留学までのステップ

募集説明会の日時 (オンラインでの実施予定です)

4年間の大学生活のなかで留学や語学研修を実現するためには、入学と同時に計画を立てるなど早めによりしっかりと準備することが必要です。下記の表を参考に、留学の計画を立てましょう。

★短期海外語学研修募集説明会 (短期留学)
【夏期】4月下旬配信予定
【春期】10月上旬配信予定

★交換留学プログラム募集説明会 (長期留学)
【英語圏】アメリカ・英国・オーストラリア・カナダ・銘伝大学 (台湾) への留学希望者
5月13日 (火) 12:30 ~ 12:50
【韓国語圏】韓国への留学希望者
5月15日 (木) 12:30 ~ 12:50
【中国語圏】中国・中国文化大学 (台湾) への留学希望者
9月17日 (水) 12:30 ~ 12:50

入学直後が
おすすめ

留学を思い立ったら

留学の約1年半~1年前

留学の約9~4ヶ月前

留学の3~1ヶ月前

入学前・1年生・2年生・3年生のあなた

留学先へ出発

計画の立案		短期留学	長期留学	留学先の検討	募集説明会の視聴	プログラムへの申込	渡航前オリエンテーションおよび危機管理セミナーに参加	
<p>『留学の目標』は明確ですか? 将来なりたい理想の自分をイメージして短期・長期留学を計画しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 留学で得たいもの、やってみたいことは何ですか? <input type="checkbox"/> 留学で得たものをどのように活用しますか? <input type="checkbox"/> 興味のある国・地域はどこですか? <input type="checkbox"/> いつ留学をしたいですか? <input type="checkbox"/> 保護者や家族の理解はありますか? <input type="checkbox"/> 資金計画はできていますか? <input type="checkbox"/> 就職活動との兼ね合いはできていますか? <p>新1年生 必見</p> <p>【本学の留学制度の説明会を開催します】 4月11日 (金) 12:25~12:55 場所: オンライン 会場URL: 学内掲示等にてお知らせします。</p>		<p>募集説明会に参加</p> <p>留学の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 留学カウンセリング (国際交流センターにて) 語学検定試験の受験 留学フェアに参加 学内実施の外国語課外講座 (IELTS・HSK等) や外国語試験対策課外講座の利用 学内の異文化交流行事等への参加 	<p>応募書類の提出</p> <p>【書類の一例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 留学願 <input type="checkbox"/> 留学計画書 <input type="checkbox"/> 語学力を証明する書類 <p>審査会 (学内選考) の実施</p> <p>学内選考合格者は協定校へ出願準備</p> <p>【書類の一例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 同じ言語圏で他大学の可能性またはオンラインでの受講 <input type="checkbox"/> 所定の申請書 <input type="checkbox"/> 在籍証明書/成績証明書 <input type="checkbox"/> 財政能力証明書 <input type="checkbox"/> パスポート 	<p>留学先大学からの入学許可書到着</p> <p>渡航準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 留学先国のビザ申請 <input type="checkbox"/> 奨学金・助成金の各種手続き <input type="checkbox"/> 海外旅行保険加入 <input type="checkbox"/> 航空券手配 <input type="checkbox"/> 寮・ホームステイ先の選定 <input type="checkbox"/> 感染症情報、入国制限などの確認 等々 <p>渡航前オリエンテーションおよび危機管理セミナーに参加</p>	<p>留学先の検討</p>	<p>募集説明会の視聴</p>	<p>プログラムへの申込</p>	<p>渡航前オリエンテーションおよび危機管理セミナーに参加</p>
<p><実際の計画例①> ザンクロス大学 (オーストラリア) に3年生の4月から留学</p>	<p>入学前・大学1年生</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導教員に相談 留学の準備 計画の立案 	<p>大学1年生</p> <ul style="list-style-type: none"> IELTS対策講座に参加 (10月~) 英語試験IELTS受験 (3月頃) 英語圏の短期海外語学研修に参加 (8月・2月頃) (任意) 	<p>大学2年生</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集説明会に出席・応募 (5月中旬頃) 学内選考合格 (7月頃) IELTS対策講座に参加・再受験 (10月~) 出願準備 (10月頃) 	<p>大学2年生</p> <ul style="list-style-type: none"> 渡航前オリエンテーションに参加 (1-2月頃) 渡航準備 (2月頃) 				
<p><実際の計画例②> 北京大学 (中国) に3年生の9月から留学</p>	<p>入学前・大学1年生</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導教員に相談 留学の準備 計画の立案 	<p>大学1年生</p> <ul style="list-style-type: none"> HSK対策講座の参加 (7-8月頃) 中国語試験HSK等受験 (8月頃) 中国語圏の短期海外語学研修に参加 (8月・2月頃) (任意) 	<p>大学2年生</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集説明会に出席 (9月) 応募 (10月中旬頃) 学内選考合格 (12月頃) 出願準備 (2月頃) 	<p>大学3年生</p> <ul style="list-style-type: none"> 渡航前オリエンテーションに参加 (6-7月頃) 渡航準備 (7月頃) 				

4年生のあなた

留学の約1年~10ヶ月前	留学の約9~4ヶ月前	留学の3~1ヶ月前
<p>確認しましょう</p> <p>最終年次となる4年生の留学は「短期留学」となります。学生最後の長期休暇期間を有意義に過ごしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 卒業に関わる単位数は修得していますか? <input type="checkbox"/> 短期留学で修得できる単位は認定されないことがあります。 ※研修の単位は、原則、総合教養科目として認定されます。 ※2月実施の研修は参加不可、または単位認定がありません。 	<p>留学先の検討</p>	<p>募集説明会に参加</p> <p>プログラムへの申込</p> <p>渡航前オリエンテーションおよび危機管理セミナーに参加</p>

短期海外語学研修プログラム

※派遣先の国が定める入国制限措置等により実施されない場合があります。

単位認定について

- 単位認定
 - 1回の研修につき2科目4単位または1科目2単位が認定されます。
 - 短期海外語学研修に複数参加した場合、他言語、同一言語にかかわらず、最大4回の研修まで単位認定を行います。
- 認定科目区分：総合教養科目
- 認定科目名
 - 短期海外研修①（言語名：研修先大学名）……………2単位
 - 短期海外研修②（言語名：研修先大学名）……………2単位
 【例：「短期海外研修①（英語：ケンブリッジ大学）」】
- 単位認定方法：Z（認定）またはD（不合格）の評価となる。（研修終了時に授与される修了証をもって、単位が認定される。）

※ただし、同一言語の研修について同一研修先大学での2回目の研修を希望する場合は、事前に国際交流センターにご相談ください。

海外語学研修費用の助成について

助成額等の詳細については、別途ご案内します。

※研修費用とは、現地での語学研修費用および渡航費等の本質的な研修実施にかかる学生負担分を指します。ただし、学生個人が負担する海外旅行保険費用および個人の使用を目的とした支出（通信費用、支度にもなう物品購入等）にともなう費用は含めないものとします。

CHECK 短期海外語学研修プログラム 募集説明会について

（動画を配信します。詳細は国際交流センターからの案内を確認ください）

- 夏期 4月下旬配信予定
- 春期 10月上旬配信予定

要注意！早めの申込を！
夏期の研修の申込締切は
2025年5月16日です。

※一部の研修は前年度に締切ることがあります。

※応募を検討している学生は、動画を視聴してください。質問がある場合は国際交流センターに問い合わせてください。

主な実施予定（同言語圏・同時期にいずれかひとつの実施になることがあります）

時期	言語	留学先	国	費用（目安）	期間	滞在方法
夏期	英語	サンフランシスコ州立大学	アメリカ	130万円	3週	ホームステイ
		ケンブリッジ大学	英国	120万円	3週	学生寮
	中国語	北京大学	中国	50万円	3週	学生寮
	韓国語	建国大学校	韓国	40万円	2週	学生寮
春期	英語	サザンクロス大学	オーストラリア	85万円	4週	ホームステイ
		アジアパシフィック大学	マレーシア	45万円	4週	ホテル他
	中国語	国立台湾師範大学	台湾	48万円	3週	ホテル他
	韓国語	高麗大学校	韓国	55万円	4週	ホームステイ

※プログラムの詳細は13ページをご覧ください。 ※研修先や申込締切等の詳細は、学内連絡にてお知らせします。
※その他の国の研修の実施も計画しております。詳細は学内連絡にてお知らせします。 ※渡航制限、日程、派遣先、費用、定員などの諸事情により、変更・中止となる場合もあります。

二松学舎大学の短期海外語学研修は、研修期間が約3週間で、春・夏休みなどの長期休業期間中に行われます。国際的に高い評価にある大学で学び、語学力の向上や異文化体験はもとより、現地大学講師による専門講義、ホームステイや大学寮での生活、現地の大学生・ホストファミリーとの交流など、グローバルマインドを養う良い機会です。修得した単位は卒業に必要な単位に計上することができます。

語学研修プログラムの参加条件

- 研修趣旨を理解していること
- 心身ともに健康で、異文化に適応できること
- 団体生活で本学・派遣先大学の指示に従うことができること

アメリカ サンフランシスコ州立大学

23 大学あるカリフォルニア州立大学群のひとつで、キャンパスは文化と芸術の街サンフランシスコに位置しています。繁華街から20分、ビーチも徒歩圏にあります。アメリカ西部の大学で留学生の多い大学トップ10にランクインされており、さまざまな人種の学生が在籍しています。

期間	2025年8月中旬～9月中旬
募集人員	20名程度（最少催行人数1名）
研修費用	130万円前後（為替変動により費用が変更になることがあります）
応募条件	学部生1～4年次（4年次生の参加の場合、単位認定は要問合わせ）
申込締切	2025年5月16日 ※一部、3月に締切ることがあります。



プログラムの特徴

美術館やシリコンバレーツアーなどを通し、サンフランシスコ特有の文化、音楽、スポーツ、IT企業などを学びながら、英会話力、プレゼンテーションスキルの向上を目指した発言・会話を実践できるプログラムです。現地学生との交流もありスピーキング力を実践で向上させていきたい方にもおすすめです。

英国 ケンブリッジ大学 ホマートンカレッジ

国際的に最高水準にあるケンブリッジ大学は31校のカレッジにより構成され、中でも所属学生数が最も多く、敷地の広さも最大規模のカレッジであるホマートンカレッジは、ヒルズロードという高級住宅街に位置しています。

期間	2025年8月上旬～8月中旬
募集人員	10名程度（最少催行人数1名）
研修費用	120万円前後
応募条件	・学部生1～4年次（4年次生の参加の場合、単位認定は要問合わせ） ・英語力テスト（IELTS4.0以上またはTOEIC450点以上）に相当する英語力があることが望ましい
申込締切	2025年5月16日 ※一部、3月に締切ることがあります。



プログラムの特徴

ケンブリッジ大学による公式な英語研修プログラムです。英語授業と専門科目の講義で構成されており、同大学講師から直接学ぶ講義、小旅行（ロンドンやストーンヘンジ等）、伝統的なフォーマルディナーなど英国らしい体験が魅力。同大学生・院生が日常生活の世話、学習の補助、レクリエーションの運営にあたります。修了者にはケンブリッジ大学より公式修了証書が発行されます。

オーストラリア サザンクロス大学

オーストラリアの自然豊かな環境で学ぶことができる小規模な国立大学。ゴールドコーストから1時間半ほどの内陸に位置する、人口46,000人のリズモアにあるメインキャンパスは世界遺産にも指定されている美しい街並みにあります。

期間	2026年2月中旬～3月中旬
募集人員	15名程度（最少催行人数未定）
研修費用	85万円前後（為替変動により費用が変更になることがあります）
応募条件	学部生1～4年次（4年次生の参加の場合、単位認定はありません）
申込締切	2025年10月下旬



プログラムの特徴

一般的な英語研修に加え、バラエティに富んだ課外活動も豊富に用意されています。一週間に約20時間の語学研修を受講し、外国人受け入れに定評のある指定のオーストラリア人宅にて、開放的なオーストラリアらしさあふれるホームステイ生活を体験できます。

カナダ フレーザーバレー大学

ブリティッシュコロンビア州のアボツフォードという治安の良い小さな町にある4年制の州立大学です。幅広い科目を持つ専門プログラムやキャリアプログラム、ESLプログラムを持ち、約16,000人も学生と世界約60か国からの留学生が学んでいます。キャンパス周辺は、雄大な自然が広がり、農場、雪の残る山々、湖や滝など、豊かな環境に囲まれています。

期間	2025年8月中旬～9月上旬
募集人員	15名程度（最少催行人数：未定）
研修費用	85万円前後（為替変動により費用が変更になることがあります）
応募条件	学部生1～4年次（4年次生の参加の場合、単位認定は要問合わせ）
申込締切	2025年5月16日 ※一部、3月に締切ることがあります。



プログラムの特徴

大学の周辺にはフレーザー川やベイカー山があり、自然に恵まれた研修地です。キャンパス内には学食、図書館、PCルーム等があり、学習環境が整っています。午前はおもにスピーキングやリスニングの授業、午後はカナダ人ボランティアと生活や文化を通じて英語を楽しく学べる課外活動が組まれています。

マレーシア アジアパシフィック大学

クアラルンプールの郊外に位置するマレーシアの代表的な私立大学。世界130か国以上から5,000人以上の留学生を受け入れる、国際色豊かな学習環境が整っている大学です。文系・理系の学部があり、特にテクノロジーの学位に定評があります。テクノロジー、イノベーション、創造性のユニークな融合により、将来性のあるプロフェッショナルな人材を育てることを目的としています。

期間	2026年2月中旬～3月中旬
募集人員	20名程度（最少催行人数1名）
研修費用	45万円前後（為替変動により費用が変更になることがあります）
応募条件	学部生1～4年次（4年次生の参加の場合、単位認定はありません）
申込締切	2025年10月下旬



プログラムの特徴

「楽しみながら英語を学ぶ」方針のもとに4技能（読む、書く、聞く、話す）を学習します。授業に加えて、国際文化を学ぶ課外活動が予定されています。パトゥ洞窟、プトラジャヤ（ピンクモスク）、ショッピングモールへの訪問が含まれます。多様な文化・温暖な気候・暮らしやすさで知られるマレーシアで学ぶ費用対効果の高い英語学習プログラムです。

中国 北京大学

中国初の国立総合大学として1898年創設と歴史も古く、国内でもトップクラスの教育水準を誇る名門エリート校です。大都市北京の中にあるながら広大なキャンパスを誇ります。北京市の中心部に近く、中国のシリコンバレーと言われる中関村にあり、頤和園の横に位置します。広大なキャンパスは、設備も充実しており、自然や歴史も感じることができます。

期間	2025年8月上旬～8月下旬
募集人員	20名程度（最少催行人数未定）
研修費用	50万円前後（為替変動により費用が変更になることがあります）
応募条件	・学部生1～4年次（4年次生の参加の場合、単位認定は要問合わせ） ・中国籍でないこと
申込締切	2025年5月16日



プログラムの特徴

中国の最高学府である北京大学での語学研修を通して、実践的な中国語能力と、中国の歴史・文化に対する理解を深めることを目的とした本学独自のプログラムです。北京大学講師の指導を受けながら、語学力向上と講義を体験します。京劇、雑技鑑賞、名所旧跡の参観など首都北京で中国語を試す機会が豊富にあります。

台湾 国立台湾師範大学

1946年に設立された台湾師範大学（1967年に国立台湾師範大学に改名）は、台湾中等教育に携わる優秀な教師陣の育成機関として知られています。研修が行われる国語教学センターは、1956年の設立以来、第二言語としての中国語教育に尽力し、台湾で最も有名で最大規模を誇る中国語語学センターです。世界80か国以上から文化や言語の環境が異なる学生が学習しています。

期間	2026年2月中旬～3月上旬
募集人員	20名程度（最少催行人数1名）
研修費用	48万円前後（為替変動により費用が変更になることがあります）
応募条件	学部生1～4年次（4年次生の参加の場合、単位認定はありません）
申込締切	2025年10月下旬



プログラムの特徴

「国立台湾師範大学」の語学研修プログラムとなります。経験豊富な講師による毎日3時間の言語授業と文化授業、校外授業、交流会を実施します。初心者の方も参加できる少人数6～10名のクラス制です。校外授業では故宮博物院・九份・鶯歌・三峡・十份・淡水等の訪問先の中から選んで参加します。

韓国 高麗大学校

高麗大学校は、1905年に設立され、韓国を代表する私立大学です。高麗大学国際語学院韓国語教育センターは1986年に韓国語と韓国文化を世界に広めるために設立されました。毎年約3,000人余りの学生が、韓国語の研修や韓国文化の体験活動に参加しています。ソウル東部の落ち着いたエリアの小高い丘の上に広大なキャンパスが広がっており、施設も充実しています。

期間	2026年2月中旬～3月中旬
募集人員	15名程度（最少催行人数1名）
研修費用	55万円前後（為替変動により費用が変更になることがあります）
応募条件	学部生1～4年次（4年次生の参加の場合、単位認定はありません）
申込締切	2025年10月下旬



プログラムの特徴

韓国の一般家庭にホームステイしながら、高麗大学校付属韓国語センターにて韓国語の語学研修を行います。韓国語学習だけでなく、現地の文化を体験できる貴重なホームステイや、高麗大学校の学生との交流など、さまざまな文化体験活動も行います。土曜日は観光地などに赴き、社会見学をすることで、文化理解を深めます。

韓国 建国大学校

建国大学校のキャンパスは韓国の首都・ソウルの中心部にあります。大学周辺は学生街となっており、食堂や大型のショッピングモールやデパートが連なり、手頃な値段のショップやレストランも多くとても生活にも便利です。広いキャンパスには人工の大きな湖があり、緑豊かな環境のなか過ごすことができます。著名なK-POPアーティストを輩出している大学でもあります。

期間	2025年8月上旬～8月中旬
募集人員	20名程度（最少催行人数1名）
研修費用	40万円前後（為替変動により費用が変更になることがあります）
応募条件	学部生1～4年次（4年次生の参加の場合、単位認定は要問合わせ）
申込締切	2025年5月16日



プログラムの特徴

設備の整った学生寮で生活をしながら、韓国語の語学研修を行います。韓国語学習だけでなく、韓国学（政治、経済、芸術など）も学ぶことができます。建国大学校の学生との交流もでき、ソウルツアーや公演観覧などさまざまな文化体験活動も行います。

派遣留学生にきく

体験談

韓国編

派遣留学をめざしたきっかけ

高校時代は、コロナで文化祭やアメリカへの修学旅行などの行事がすべて中止になってしまって、自分が思い描いていたようなキラキラした高校生活を送れませんでした。そのため、大学では「何か大きなことに挑戦してみたい」と漠然と思っていたので派遣留学を目指そうと決めました。決めた時期は、1年次の6月くらいだったと記憶しています。

韓国に長期留学にした理由

ありがちですが、もともとKポップが好きでドラマやYouTubeをよく観ていたのが最初のきっかけです。二松学舎では都市文化デザイン学科に在籍しており、さまざまなメディアを学んでいくなかで、特に国際メディアに興味を持ちました。留学先の成均館大学には映像学科があり、私の学びたい分野と合致したので短期ではなく長期留学に挑戦しました。

二松学舎から留学するメリットは、やはり大きな信頼と安心感があります。休学して私費留学やワーキングホリデーをする方法もありますが、留学先で取得した単位を交換し帰国したら同い年の友だちといっしょに3年生になれるという魅力でした。

国際交流センターの活用方法

国際交流センターの皆さんには本当にお世話になりました！わからないことがあればメールで何でも聞いていました。心配性の私は、しつこいくらいメールをしてしまったと思いますが、親身になって対応してくださいました。また、国際交流センターが企画している留学経験者との交流会に参加し、実際に韓国留学をした先輩とつながることができました。連絡先を交換し、いっしょにご飯を食べに行ったりアドバイスをもらっていましたね。わからないことはすべてリスト化して出発までに不安を解消できるようにしました。

応募条件を満たすために

韓国語の勉強を本格的に始めたのは高校3年生の3月末で、二松学舎に入学後は初級入門レベルの韓国語の授業を履修しました。昼休みには、韓国語の教授の研究室に向かい、韓国語で書いた日記を添削していただき、ライティングのスキルを磨いていました。ただ、応募までに時間がなかったので、独学でも韓国人の友だちと会話練習をしたり、YouTubeを翻訳したりと、かなりハードに勉強したと思います。おかげで留学前に受けた韓国語能力検定(TOPIK)では3級に合格することができました。

成績に関しては、派遣留学の応募条件のひとつに「GPAが2.5以上であること」があります。私はもともと入試奨学生として入学しているので、成績維持は絶対条件でした。派遣留学生を審査する面接対策にも力を入れました。間かかれそうな質問を想定し、自信をもって韓国語で答えられるように練習を重ねました。審査結果が出るまでドキドキしましたが、派遣留学生として選ばれたときは本当にうれしかったです。

語学堂の授業について

渡韓して3か月間は語学堂で韓国語の勉強をしました。渡韓前に、成均館大学の新生入生向けに語学堂の先生が無料で韓国語のオンライン授業を行ってくれました。そして、自分の今の韓国語レベルに合ったクラスで学べるようブレースメントテストがありました。成均館大学では1～6級のレベルにクラスが分かれており、私は5級からスタートしました。クラスは、中国、インド、タイ、ブルネイ、トルコと、さまざまな国からの学生が集まっており日本人は私ひとりで合計8人でした。単語、文法、リスニングなどは基本的に教科書を使って勉強し、スピーキングに関しては決まったテーマに沿ってプレゼンテーションを行いました。テーマの例は「少子高齢化を改善するには？」や「新商品を考えて販売プレゼンを行う」といったものでした。語学堂はとにかく楽しかったです。韓国に行きましたが、韓国以外の国の学生たちと出会い異文化交流を通じて、今まで知らなかった世界が広がったと感じました。



印象に残っている大学学部の授業

語学堂の最上級クラスである6級に進級し、9月から正科の授業が始まりました。映像学科では「テレビ・ドラマワークショップ」がもっとも印象に残っています。前半は、現在も映像の世界で活躍している監督からドラマの制作方法や理論、制作において重要な点を学び、後半は、チームに分かれて実際にドラマを撮影しました。企画・脚本から、キャスティング、俳優への出演依頼、美術、演出、撮影、編集まで、すべて学生たちで行いました。現地の韓国人学生といっしょに作業するのはとても大変でした。彼らはドラマづくりの基礎や編集技術などがある程度身につけていましたが、留学生は私ひとりと言語の壁もありドラマづくりは未経験

だったので作業をなかなか任せてもらえないということがありました。落ち込みましたが、なんとか自分にできることを探して乗り越えましたね。授業で驚いたことは、日本人学生がいるなかでも慰安婦問題や汚染水など、センシティブな内容も取り扱われていたことです。ただ単に反日の意見というわけではなく、自分は実際どう思うかという意見交換の場面が多々あり刺激的でした。



授業以外の時間の過ごし方

旅行では釜山と束草に行きました。カメラが趣味なので漢江や公園に行って撮影をしていました。すごくきれいに撮れたときは、写りこんだ知らない人に「良い写真が撮れたのでもしよかったらいらいますか？」と話しかけ地元の人と韓国語でコミュニケーションが取れたのも楽しかったです。

住まいについて

当初は学生寮に住む予定でしたが、入寮申込書がオンライン上でうまくアップロードできていなかったのか先方が読み込めなかったのか手違いがあり、問い合わせたときにはすでに満室状態で入寮できないというハプニングがありました。結局、成均館大学と提携しているシェアハウスに住み、ひとり一室の個室とキッチン、洗濯機、リビング等は共用で使っていました。



シェアハウスで大変だったこと

ヨーロッパやアジア圏からの学生たちといっしょに生活するのは大変でした。特に「衛生面」ですね。たとえば、使ったお皿が何日もシンクに置いたままになっているとか、生ごみは排水溝に流してはいけないのに流して詰まったまま放置されているとか。あと冷蔵庫も共用なので自分の食料は名前を書いて管理していたのですが、勝手に使われていたり。韓国に住んでいるので韓国語ができれば問題ないだろうと思っていましたが、全英学部*の学生もいるので意外と韓国語ができない人も多いんですね。自分の食料には、韓国語・英語・中国語で「使うな！」と貼り紙をつけたり勝手に使う人はいなくなりました。*すべて英語で授業を受けている学生

おすすめの韓国料理

韓国の屋台で食べる「おでん」がいちばん好きでした。韓国のおでんは串に油揚げや練り物がささっていて、店主である優しいイモニム(おばちゃん)と話しながら、寒いなか食べるのにハマっていました。あとは韓国風ソーセージの「スンデ」もよく食べていました。豚の腸の中に豚の血、春雨、もち米などを詰めたもので、そのスンデを使ったスープ「スンデグッ」がおいしいお店を巡るのも楽しかったです。スンデは独特の香りと味で好き嫌いが分かれるのですが、韓国に行ったらぜひ挑戦してみたい一品です。

留学で成長した点

ひとつは「ストレス耐性」です。留学前はメンタルが弱く、壁にぶつかったりハプニングが起こったりすると弱気になりがちでした。しかし、留学中は周りに頼れる人があまりいなかったため「やるしかない！」というマインドで、目の前のことを一つひとつ乗り越えていきました。ふたつめは「行動力」です。派遣留学は10か月間海外で生活できますが、だからこそ自分から行動しなければ、多くのことを体験することができません。長くも限定された時間を海外で過ごしたことでフットワークが軽くなったと感じます。



留学を活かした今後の進路

まだ悩んでいます。留学の目的として、将来の進路の選択肢を広げたいという想いもありました。3年生のゼミでは、成均館大学で学んだメディアの観点から韓国や日本の観光について学ぼうと考えています。

国際的な視野は広がりましたか？

もともと韓国について深く学びたいと強く願っていましたが、語学堂でさまざまな国の学生と交流するなかで、インド、タイ、ブルネイなどの文化、伝統芸能、習慣、料理、住まいを知ることができました。また、前述したように友人との会話でも政治的な内容について触れられることが日常茶飯事でした。あらゆる立場からの情報や価値観を理解しグローバルな視点を持つ貴重な機会になったと感じています。

最後に…

留学で大切なのは勇気だと思います。私は初めての海外がこの長期留学でした。不安や心配は少なからずあると思いますが、まずは留学を決断するという勇気を出してみてください。一歩踏み出すのがとてつもなく怖い瞬間もありますが、踏み出した先は新発見に満ちあふれています。きっと後悔しません！



関口さんのコメントは
19ページにも掲載しています。

関口 樹さん

文学部2年生(留学開始時)
留学先: 韓国 成均館大学校
時期: 2024年2月~12月(10か月)

交換留学プログラム

※派遣先の国が定める入国制限措置や国際情勢等により実施されない場合があります。 ※単位が認定されない場合、卒業要件を満たせないため、4年間（学部の場合）で卒業できないことがあります。

派遣留学生の心得

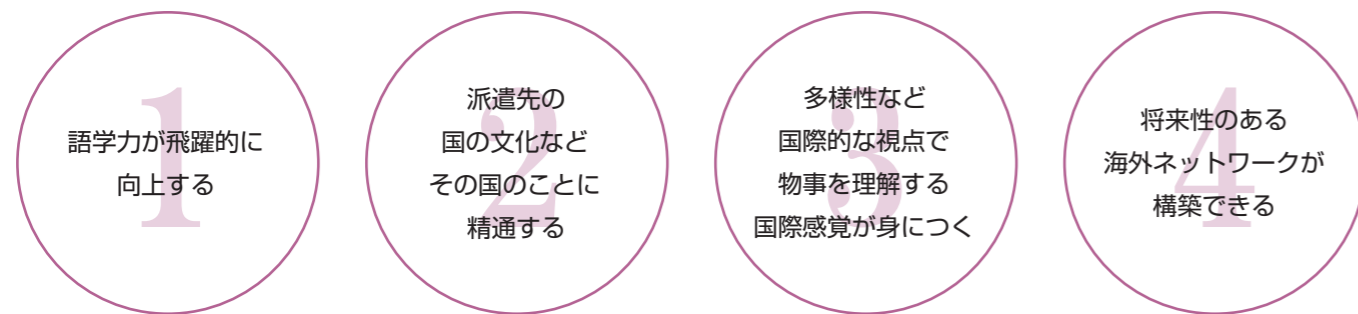
本学の派遣留学への参加は、「学生自身の自主的かつ主体的な選択と責任管理によって行う」ことを理解のうえ、渡航先の選択、渡航準備、帰国手続きを含むすべての行動を学生本人の責任において進めます。出願時に提出する誓約書（本人と保証人の同意が必要）を理解のうえ、必要な手続きと行動を進めてください。派遣留学生に選考されたのちは、留学先担当者と事前に連絡を行い、各種申請手続き等を行います。

派遣留学生の義務

- ① 自発的な留学手続きの実施
- ② 留学先の学則の遵守
- ③ 派遣期間中の月例報告書および現地レポート（動画）の提出
- ④ 派遣留学期間の全期間において本学が定める条件を満たす
海外留学保険への加入
- ⑤ 留学先が主催する国際交流等の催事への参加

派遣留学の魅力

1年間を海外で過ごす経験は、自分への投資でもあり生涯の財産にもなります。
海外旅行や短期の語学研修と比較して留学期間が長い1年間の派遣留学の魅力は大きく分けて4つあります。



アカデミックイヤーとなる1年間を海外の大学で過ごす貴重な経験は、生涯忘れることのない経験でもあります。グローバルな力を高める機会にもなります。卒業後のキャリアが広がるなど大きな価値を見出すことが可能なため、自己への投資という側面があります。特に、グローバル人材に必要とされる5大要素（コミュニケーション力、外国語能力、リーダーシップ、問題解決力、環境適応力）のスキル向上に効果があるとされています。

本学ではグローバルに活躍する学生の留学をサポートするため、海外に多くの派遣留学先を整備しており、中国語圏、韓国語圏への留学は、従来どおり本学の授業料のみの納入で1年間の留学が可能です。また、英語圏への留学は、所定の要件を満たした場合、本学の授業料のみで1年間の留学が可能です。

留学における取扱要領について

派遣留学を希望する学生は巻末に掲載されている各学部の「取扱要領」を必ず熟読の上、申請してください。

在籍学部、留学先の言語圏、履修するプログラム等によって、単位認定の換算や派遣条件は変動します。自身の卒業要件を明確に理解し、派遣留学前までに本学で特定の科目の履修等を終えておく等の事前の計画が必要となります。

本学では将来グローバルに活躍する学生のために留学の機会を提供しています。二松学舎大学の交換（派遣）留学は、原則1年間で行われ、海外協定校へ留学します。この期間は在学の修業年限に算入されるため、「休学」せずに留学することが可能です。留学先で修得した単位を本学の単位に認定された場合は、本学の卒業に必要な単位に計上することができます。

派遣留学生（英語圏）助成金制度

英語圏の海外協定校（アメリカ・英国・オーストラリア・カナダ）への派遣留学制度の利用に際し、本学で実施する派遣留学審査会にて「派遣留学生」と決定した学生は、助成を受けることができます。

【助成金制度の内容】

「派遣先大学の年間授業料」と「本学の年間授業料」との差額について下表の助成を行います。

助成額については、派遣留学生の英語レベルによって、「全額助成」または「半額助成」を決定します。

	A. 派遣先大学の授業料が 全額助成される奨学生	B. 派遣先大学の授業料が 半額助成される奨学生
助成内容	「派遣先大学の年間授業料」と「本学の年間授業料」との差額を全額助成。	「派遣先大学の年間授業料」と「本学の年間授業料」との差額を半額助成。
対象	<ul style="list-style-type: none"> 留学開始直前時点で、派遣留学先の大学学部レベル（「学部」または「大学進学準備コース」）に在籍できる英語力要件に達している派遣留学生。 または 派遣留学期間において、派遣先大学における最終在籍プログラムが大学学部レベルに達した派遣留学生。 	<ul style="list-style-type: none"> 留学開始直前時点で、派遣留学先の大学学部レベル（「学部」または「大学進学準備コース」）に在籍できる英語力要件に達しておらず、英語研修レベルの英語能力資格を所有する派遣留学生。 かつ 派遣留学期間において、派遣先大学における最終在籍プログラムが大学学部レベルに達しなかった派遣留学生。
英語力要件（目安）	IELTS 5.0以上（派遣先大学によっては6.0以上）	IELTS 4.5（派遣先大学によっては5.0～5.5）
派遣先大学の受入レベルとコースの内容 ※各コースの要件は、必ずしも右記英語力要件と合致しない。	大学学部レベル <ul style="list-style-type: none"> 大学進学準備（ファウンデーション）コース：IELTS 5.0～6.0相当の中級レベル。学部正規科目の授業についていくために必要となるアカデミックな英語やスタディ・スキル、専門科目を学ぶ。派遣先大学によっては学部の正規科目を一部履修。 学部：IELTS 6.0以上相当の上級レベル。現地大学生に混じって、学部の正規科目を履修。 	英語研修レベル <ul style="list-style-type: none"> 英語研修コース：IELTS 4.5～5.5相当の初中級レベル。一般英語力向上を目的とする語学研修。留学生向けのプログラム。

※派遣先大学が定めている各受入レベル（大学学部／大学進学準備／英語研修）のIELTSの英語力要件は変更される可能性があります。
 ※派遣先大学の受入条件として、IELTS以外（TOEFL、英検等）の英語試験スコアも認められている場合は、先方が定めている英語試験の換算方式に基づきIELTSとの同等スコアを算出した上で助成内容を決定します。
 ※派遣先大学の授業料（概算）については、21～25ページの各協定校の概要をご参照ください。
 ※助成金の支給方法および派遣先大学への授業料の納入手続き等原則として、本学から派遣留学生への助成金の給付は行わず、本学から派遣先大学へ直接授業料を支払います。ただし、派遣先大学側の意向等により、支払方法の変更が生じる可能性があります。場合によっては、派遣先大学の授業料を、派遣留学生による一時的な立て替え（帰国後に助成額相当を派遣留学生に返金等）が発生する可能性もあります。
 ※派遣先大学の授業料の現地通貨によって計算されます。半額助成となる場合、自己負担額は為替に伴い変動します。

先輩 VOICE

関口 樹さん
文学部 2年
（留学開始時）



留学先：成均館大（韓国）
期間：2024年2月～2024年12月

自分が外国人の立場になる。幅広い話題に対応できることが大切。

留学先でさまざまな国やバックグラウンドを持った人に出会うということは、相手にとって自分が日本人代表になるということです。留学中「日本ではどうなの？」という質問を投げかけられたり、意見を求められる場面が何度もありました。実際にこの質問を受けて感じたのは「自分は思ったより日本について知らない」ということです。なので、留学前に「日本についての知識を身につける」ことは重要です。さらに、その知識や情報に対して、自分の意見をしっかりと相手に伝えられるようになればより良いと思います。

協定校への留学

「二松学舎大学交換留学に関する規程」に基づく、海外協定校への1年間（協定校によっては半年間）の交換（派遣）留学です。本学で留学希望者を募集し、所定の審査により各協定校につき最大2名を選出します。協定校によって、応募期間や資格、協定校への授業料の支払い等、派遣条件がそれぞれ異なるので、ご注意ください。

＜主な特長＞

- ・学籍上の取扱い「留学」になります。
- ・派遣留学生奨学金の給付が行われます。
- ・留学期間中の本学への施設費は全額免除されます。
- ・留学先大学で修得した単位は、本学の卒業必要単位として認定されます。（条件あり）
- ・留学期間は本学の修業年限に算入されるため、留学しても学部生の場合は4年間、大学院博士前期（修士）課程生の場合は2年間、博士後期課程生の場合は3年間で卒業（修了）できる可能性があります。

学外の奨学金について

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金について
文部科学省が所管する独立行政法人日本学生支援機構（以下、機構）の奨学金で、協定校への派遣留学生を対象としています。申込は本学で行う必要があります。

※第二種奨学金（短期留学）-貸与（利息付）
貸与型の奨学金で、返還する必要があります（在学中は無利子ですが、卒業後より利息が計上されます）。貸与月額は、3万円・5万円・8万円・10万円・12万円からの選択制で、留学期間中に限り貸与されます。申し込みには連帯保証人が必要です。希望者は、本学を通して申請し、機構の審査を経て決定されます。留学時期により募集時期が異なるので、希望する場合は早めに問い合わせてください。

応募書類	帰国報告書
<p>① 留学願（大学所定の用紙に記入） ② 留学計画書（大学所定の用紙に記入） ③ 語学力を証明する書類</p>	<p>（留学を終えて帰国した者は、帰国の日から14日以内に次の書類を提出すること）</p> <p>① 留学終了届 ② 帰国報告書 ③ 在籍期間証明書 ④ 成績証明書</p>

CHECK

交換留学プログラム 募集説明会の日程

（オンラインでの実施の予定です。詳細は国際交流センターからの案内を確認ください）

英語圏	サンフランシスコ州立大学（アメリカ）・バッキンガム大学（英国）・サザンクロス大学（オーストラリア） フレーザーバレー大学（カナダ）・銘伝大学（台湾）※銘伝大学においては英語での授業となるため、英語圏の派遣留学となります。 5月13日（火）12:30～12:50
韓国語圏	成均館大学校（韓国）・建国大学校（韓国）
中国語圏	北京大学（中国）・中国文化大学（台湾）他 9月17日（水）12:30～12:50

※応募を検討している学生は、上記いずれかの説明会に出席してください。話を聞いてみたいというだけでも構いません。
※フランス語圏の募集説明会は実施しない予定です。興味のある学生は国際交流センターまで2025年7月までに問い合わせてください。

留学期間中における授業料の支払および助成制度・奨学金の概要について

英語圏への留学においては、本来、派遣先大学への授業料を自己負担することになりますが、本学の助成制度により所定の英語力の要件を満たした場合は、派遣先大学の授業料と本学の授業料の差額の半額または全額が助成されます。全額の助成が認定された場合は、本学の授業料のみで1年間の留学が可能となります。また、中国語圏、韓国語圏への留学は、従来どおり本学の授業料のみの納入で1年間の留学が可能となります。

主な派遣留学先	国	言語	本学の年間授業料	本学の年間施設費	派遣先大学の年間授業料 ^(※1)	派遣留学助成金制度 ^(※2)	派遣留学生奨学金 ^(※3)		
サンフランシスコ州立大学	アメリカ	英語	79.6万円	免除	全額負担	派遣先大学の 年間授業料の半額 または全額助成	月4万円		
バッキンガム大学	英国								
サザンクロス大学	オーストラリア								
フレーザーバレー大学	カナダ								
銘伝大学 ※英語での授業	台湾	中国語			79.6万円	免除	全額免除	派遣先大学の 年間授業料が 免除のため 助成なし	月3～4万円
北京大学	中国								
周口師範学院	中国								
中国文化大学	台湾	韓国語			79.6万円	免除	全額免除	派遣先大学の 年間授業料が 免除のため 助成なし	月3～4万円
成均館大学校	韓国								
建国大学校	韓国	韓国語	79.6万円	免除	全額免除	派遣先大学の 年間授業料が 免除のため 助成なし	月3～4万円		
ボルドー・モンテーニュ大学	フランス							フランス語	79.6万円
リール大学	フランス	フランス語	79.6万円	免除	一部負担 <small>（学部レベルの授業料は免除、付属語学機関での授業料は学生負担となる場合があります。）</small>	月4万円			

※1）北京大学の授業料は、帰国後、領収書と引き換えに授業料を返金する手続きとなりますので、留学開始時に準備しておく必要があります。
 ※2）派遣留学助成金制度の詳細については、前ページ「派遣留学生（英語圏）助成金制度」をご参照ください。
 ※3）派遣留学生奨学金は、本学から海外協定校に派遣される派遣留学生全員に留学期間中に支給されます。これは返還の必要のない給付型の奨学金です。詳細は32ページ（「二松学舎大学派遣留学生奨学金規程」）をご参照ください。

アメリカ

サンフランシスコ州立大学

2026年8月～2027年6月（予定）

温暖な気候で知られるサンフランシスコの市内に位置し、最新テクノロジー企業とのネットワークが強く、グローバルな環境で知られています。カリフォルニア州立大学（CSU）システムの一校で、リベラルアーツ、ビジネスなどの分野に強みを持つ総合大学で、多数の施設が広大な敷地に広がります。

申込締切

2025年6月6日（金）
場所：国際交流センター（5号館5階）
※応募書類は20ページ参照

募集人数

原則として1名以内

応募資格（応募時）	<ul style="list-style-type: none"> ① 学部1～3年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を、学部において30単位以上を修得する見込みの者 ③ 英語試験 IELTS 6.0以上を取得 ※申込期限（6月6日）までにIELTSスコアを提出できない学生は、IELTSスコア以外の全ての出願書類を申込期限までに国際交流センターに提出し、6月8日までにIELTSを受験し、6月20日までにIELTSスコアを提出すること。 ④ 履修科目全体のGPA 2.5以上（あるいは見込）あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者 				
審査	書類審査 面接試問 ※日程等詳細は別途案内	待遇	<ul style="list-style-type: none"> ・留学期間中の本学施設費全額免除。 ・先方への授業料負担に関しては一部助成あり。助成金が満額支給された場合、派遣先大学への授業料負担はない。 	派遣先コースの英語力要件（目安）	<ul style="list-style-type: none"> ・大学学部レベル：IELTS 6.0以上 ・英語研修レベル：該当なし
履修内容	2学期で構成されており開始学期は、スタディスキルを学ぶ英語プログラム（留学生が対象）と正課の大学講義（1科目）を履修する。最終学期は正課科目に相当する授業を数科目履修する。修得した単位については、本学で履修内容を審査のうえ、英語研修においては20単位を上限、大学学部の正課科目においては40単位まで認定される。特定の科目（理系、アート、音楽等）は認定されない。※各プログラムにおける単位認定の詳細については、別途、国際交流センターに確認すること。				
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ① 学生寮への入寮は応相談。自己手配になることもある。 ② 食事：自炊。キャンパス内のカフェテリアも利用可能。 				
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等（為替の変動により概算となる。米国ドル160円で試算） 【生活費】450万円※宿泊居住費、食費を含む総額 【航空運賃・ビザ申請料】20万円【海外旅行保険】10万円【その他】20万円【学費】0円～80万円【合計】500万円				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業料全額助成の条件は、最終学期に正課科目のみを履修する留学プログラムに進むことが条件となる。 ② サンフランシスコの物価は極めて高く、生活費（特に居住費は高い）は年間30,000ドル（450万円相当）以上となるため、資金計画には注意が必要。 ③ 派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることはある。 				

英国

バッキンガム大学

2026年9月～2027年6月（予定）
※英語力により2026年4月からの留学が可能な場合もあります。

ロンドンから電車で1時間ほどの、英国伝統の赤レンガ造りの建築が並ぶ美しいキャンパスが特徴です。公的な大学調査では、学生満足度において英国1位に選出された総合大学で、きめ細かな学生ケアに定評があります。また、サッチャー元首相が創設したことで知られています。

申込締切

2025年6月6日（金）
場所：国際交流センター（5号館5階）
※応募書類は20ページ参照

募集人数

原則として1名以内

応募資格（応募時）	<ul style="list-style-type: none"> ① 学部1～3年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を、学部において30単位以上を修得する見込みの者 ③ 英語試験 IELTS 5.5以上を取得 ※申込期限（6月6日）までにIELTSスコアを提出できない学生は、IELTSスコア以外の全ての出願書類を申込期限までに国際交流センターに提出し、6月7日までにIELTSを受験し、6月20日までにIELTSスコアを提出すること。 ④ 履修科目全体のGPA 2.5以上（あるいは見込）あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者 				
審査	書類審査 面接試問 ※日程等詳細は別途案内	待遇	<ul style="list-style-type: none"> ・留学期間中の本学施設費全額免除。 ・先方への授業料負担に関しては一部助成あり。助成金が満額支給された場合、派遣先大学への授業料負担はない。 	派遣先コースの英語力要件（目安）	<ul style="list-style-type: none"> ・大学学部レベル：IELTS 6.0以上 ・英語研修レベル：5.5以上
履修内容	派遣学生の英語力に応じた右記のプログラムを履修：大学学部レベル（大学学部または大学準備コース）。IELTSが5.5の場合は大学準備コース（英語研修プログラムで開始）を9月から履修開始。IELTSが6.0以上の場合は大学準備コースを原則9月から履修開始（受入先大学の判断で英語研修プログラムから開始の場合もある）。IELTSが6.5以上の場合は大学学部での授業（理系等を除く一般的な科目）が4月もしくは9月から履修可能。修得した単位については、本学で履修内容を審査のうえ、英語研修においては20単位を上限、大学学部の正課科目においては40単位まで認定される。特定の科目（理系、アート、音楽等）は認定されない。※各プログラムにおける単位認定の詳細については、別途、国際交流センターに確認すること。				
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ① 原則としてバッキンガム大学キャンパス内宿舎または徒歩圏内の周辺学生寮（1か月約8～10万円）。大学の宿舎は複数あり、それぞれ仕様、設備、広さに応じて料金が異なる。希望通りの宿舎にならないこともある。 個室（主な設備：ベッド、寝具、机、椅子、クローゼット等の生活備品一式、シャワールーム、共同キッチン、Wi-Fi）。 ② 食事：自炊。キャンパス内のカフェテリアも利用可能。 				
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等（為替の変動により概算となる。英国ポンド190円で試算） 【宿泊費】150万円【航空運賃・ビザ申請料】30万円【海外旅行保険】15万円【健康診断料】2万円【食費、その他】100万円【※学費】0円～150万円【合計】300万円～450万円 ※学費の負担：留学期間中に大学学部レベル（大学学部または大学準備コース）に在籍した場合は、本学より助成金を満額支給するため、派遣先授業料の負担はない。本学からの半額助成が適用された場合、バッキンガム大学への授業料負担分（約60万円）がかかる。本学への授業料は別途、納入する。※派遣留学生には別途、4万円の奨学金が支給される。				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ① 取得したIELTSのOverallのスコア以外にReading, Listening, Writing, Speakingの各スコアにより、派遣開始時期が変更になることがある。 ② 派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることはある。 				

オーストラリア サザンクロス大学

ゴールドコーストから1時間半の内陸に位置するリズモアのメインキャンパスは、世界遺産に指定されている地域にあります。広大な敷地には図書館、科学実験ラボ、劇場、ジムがあり、派遣学生は利用が可能。ゴールドコーストにもキャンパスがあります。

応募資格 (応募時)	① 学部1～3年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を、学部において30単位以上を修得する見込みの者 ③ 英語試験IELTS 5.0以上を取得 ※申込期限(6月6日)までにIELTSスコアを提出できない学生は、IELTSスコア以外の全ての出願書類を申込期限までに国際交流センターに提出し、6月7日までにIELTSを受験し、6月20日までにIELTSスコアを提出すること。 ④ 履修科目全体のGPA 2.5以上(あるいは見込)あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者				
審査	書類審査 面接試問 ※日程等詳細は別途案内	待遇	・留学期間中の本学施設費全額免除。 ・先方への授業料負担に関しては一部助成あり。助成金が満額支給された場合、派遣先大学への授業料負担はない。	派遣先コースの 英語力要件 (目安)	・大学学部レベル：IELTS 6.0以上 ・英語研修レベル：IELTS 5.0～5.5 他の英語能力試験でも申請可能な場合があります。
履修内容	派遣学生の英語力に応じた右記プログラムを履修：大学学部レベル(大学学部または大学準備コース)、英語研修。 留学開始時にIELTS 5.0～5.5の場合は、10週程度の英語研修後、次学期は大学学部での授業(理系科目等を除く広範な科目から選択可能)を履修。同様に、留学開始時にIELTS 6.0以上の場合は、初学期から大学学部の授業(理系科目等を除く広範な科目から選択可能)が履修可能。修得した単位については、本学で履修内容を審査のうえ、語学プログラムにおいては20単位を上限、大学学部の正課科目においては40単位まで認定される。特定の科目(理系、アート、音楽等)は認定されないこともある。 ※各プログラムにおける単位認定の詳細については、別途、国際交流センターに確認すること。				
生活環境	① 原則としてサザンクロス大学指定のホームステイまたは学生寮(1か月約6～8万円) 大学の宿舎が徒歩圏か近郊(バスでの通学)に複数あり、仕様、設備、広さに応じて料金が異なる。希望通りの宿舎にならないこともある。 個室(主な設備：ベッド、寝具、机、椅子、クローゼット等の生活備品一式、シャワールーム、共同キッチン、Wi-Fi)。 ② 食事：自炊。キャンパス内のカフェテリアも利用可能。				
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等(為替の変動により概算となる。豪ドル100円で試算) 【宿泊費】100万円 【航空運賃・ビザ申請料】20万円 【海外旅行保険】10万円 【健康診断料】2万円 【食費、その他】100万円 【学費】0円～55万円 【合計】220万円～270万円 ※学費の負担：留学期間中に大学学部レベル(大学学部または大学準備コース)に在籍した場合は、本学より助成金を満額支給するため、派遣先授業料の負担はない。本学からの半額助成が適用された場合、サザンクロス大学への授業料負担分(約50万円)がかかる。本学への授業料は別途、納入する。※派遣留学生には別途、4万円の奨学金が支給される。				
備考	① 取得したIELTSのOverallのスコア以外にReading, Listening, Writing, Speakingの各スコアにより、派遣開始時期が変更になることがある。 ② 派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることがある。				


カナダ フレーザーバレー大学

世界で最も住みやすい都市として知られるバンクーバーから車で1時間、ブリティッシュコロンビア州のアボツフォードという治安の良い町にある4年制州立大学。専門プログラムやキャリアコース、語学コースを持ち、約60か国からの留学生在が学んでいます。

応募資格 (応募時)	① 学部1～3年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を、学部において30単位以上を修得する見込みの者 ③ IELTS 5.0以上を取得 ※申込期限(6月6日)までにIELTSスコアを提出できない学生は、IELTSスコア以外の全ての出願書類を申込期限までに国際交流センターに提出し、6月7日までにIELTSを受験し、6月20日までにIELTSスコアを提出すること。 ④ 履修科目全体のGPA 2.5以上(あるいは見込)あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者				
審査	書類審査 面接試問 ※日程等詳細は別途案内	待遇	・留学期間中の本学施設費全額免除。 ・先方への授業料負担に関しては一部助成あり。助成金が満額支給された場合、派遣先大学への授業料負担はない。	派遣先コースの 英語力要件(目安)	・大学学部レベル：IELTS 5.5以上 ・英語研修レベル：IELTS 5.0～5.5 他の英語能力試験でも申請可能な場合があります。
履修内容	派遣学生の英語力に応じた右記のプログラムを履修：大学学部レベル(大学学部または大学準備コース)、英語研修。 留学開始時のIELTSが5.0～の場合は英語研修から履修を開始。IELTSが5.5～6.0の場合は大学準備コースから履修を開始。IELTSが6.5以上の場合は大学学部での授業が履修可能。英語力に応じたプログラムに在籍する。英語研修(中級・上級)、大学準備コース(2レベル)、大学学部の順序に修了。履修期間中に、上位プログラムへの進学要件となる英語力を取得した場合は、適合する上位プログラムへの進級が認められる。3学期目(夏学期5月から8月)に対象となるプログラムが継続開講している場合には、留学期間の終了日は変動することがある。修得した単位については、本学で履修内容を審査のうえ、語学プログラムにおいては20単位を上限、大学学部の正課科目においては40単位まで認定される。※各プログラムにおける単位認定の詳細については、別途、国際交流センターに確認すること。				
生活環境	① 原則としてフレーザーバレー大学指定の周辺学生寮(1か月約6～8万円)が一般的だが大学指定のホームステイ先を選択することも可能。 複数の学生寮があり、それぞれ仕様、設備、広さに応じて料金が異なる。希望通りの宿舎にならないこともある。 個室(主な設備：ベッド、寝具、机、椅子、クローゼット等の生活備品一式、シャワールーム、共同キッチン、Wi-Fi)。 ② 食事：自炊。キャンパス内のカフェテリアも利用可能。				
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等(為替の変動により概算となる。カナダドル110円で試算、12か月滞在の場合) 【宿泊費】100万円 【航空運賃・ビザ申請料】20万円 【現地大学保険・海外旅行保険】15万円 【健康診断料】2万円 【食費、その他】100万円 【学費】0円～65万円 【合計】240万円～280万円 ※学費の負担：留学期間中に大学学部レベル(大学学部または大学準備コース)に在籍した場合は、本学より助成金を満額支給するため、派遣先授業料の負担はない。本学からの半額助成が適用された場合、フレーザーバレー大学への授業料負担分(約60万円)がかかる。本学への授業料は別途、納入する。※派遣留学生には別途、4万円の奨学金が支給される。				
備考	① 取得したIELTSのOverallのスコア以外にReading, Listening, Writing, Speakingの各スコアにより、派遣開始時期が変更になることがある。 ② 派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることがある。 ③ 原則、通学手段は主にバスを利用するようになるが、現地事情(交通条件、気候等)によりホームステイ先からホストファミリーが車で送迎することもある。				

2026年4月～2027年3月(予定)

※英語力により2026年2月下旬からの留学が可能な場合もあります。

申込締切	2025年6月6日(金) 場所：国際交流センター(5号館5階) ※応募書類は20ページ参照	
募集人数	原則として1名以内	

台湾 銘伝大学

すべての授業が英語で行われる国際学部への派遣のため、英語圏の留学となります。ただし生活では中国語が主となるため、英語、中国語の両言語を学ぶことも可能な環境です。親日的である台湾は、海外に不慣れな日本人には過ごしやすいとされています。

応募資格 (応募時)	① 学部1～3年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を、学部において30単位以上を修得する見込みの者 ③ 英語試験IELTS 5.0以上の場合は大学学部での授業(理系等を除く一般的な科目)を履修することができます。出願には必ずIELTSのスコアを提出が必要ですが、IELTS 4.5以下の場合においては、他試験のスコア(英検、TOEFL、TOEIC)によっては留学が可能なこともある。 ※申込期限(6月6日)までにIELTSスコアを提出できない学生は、IELTSスコア以外の全ての出願書類を申込期限までに国際交流センターに提出し、6月7日までにIELTS試験を受験し、6月20日までにIELTSスコアを提出すること。 ④ 履修科目全体のGPA 2.5以上(あるいは見込)あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者				
審査	書類審査 面接試問 ※日程等詳細は別途案内	待遇	・留学期間中の本学施設費全額免除。 ・先方への授業料は全額免除となるため、派遣先大学への授業料負担はなし。	派遣先コースの 英語力要件(目安)	・大学学部レベル：IELTS 5.0以上 ただし、IELTS 4.5以下の場合は、他試験のスコアの提出を求めることがある。
履修内容	派遣先大学国際学部の正課科目を履修。修得した単位については、本学で履修内容を審査のうえ、大学学部の正課科目において40単位まで認定される。例外として、語学学習関連、特定の科目(理系、アート、音楽等)は、認定されないことがある。※各プログラムにおける単位認定の詳細については、別途、国際交流センターに確認すること。				
生活環境	原則として派遣先大学が指定する宿舎または学生寮。滞在先は複数あり、それぞれ仕様、設備、広さに応じて料金が異なる。希望通りの宿舎にならないこともあり。個室の場合は月に4万円程度、2人1部屋だとその半額程度、4人1部屋だとさらにその半額となり、生活費用はほかの海外諸外国と比較して大幅に低く抑えられる。				
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等(為替の変動により概算となる。台湾元5円で試算) 【宿泊費】48万円 【航空運賃・ビザ申請料】12万円 【現地大学保険・海外旅行保険】10万円 【健康診断料】2万円 【食費、その他】50万円 【学費】0円 【合計】122万円 ※学費の負担：派遣先授業料の負担はない。※派遣留学生には別途、4万円の奨学金が支給される。				
備考	派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることがある。				

中国 北京大学

中国の最高峰の総合大学です。前身は京師大学堂で、中国の近現代史において常に重要な役割を果たしてきました。同大学歴史学系は、1996年から本学短期海外研修の受け入れ先となり1999年に本学と協定を締結しました。


応募資格 (応募時)	① 文学部1～3年次生(1年次生は別途要件あり)、国際政治経済学部1～3年次生、大学院研究科博士前期課程1年次生、修士課程1年次生、博士後期課程1、2年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を学部においては30単位以上、博士前期課程並びに修士課程においては16単位以上、博士後期課程においては、8単位以上を修得する見込みの者 ③ 中国語検定3級以上、またはHSK5級180点以上 ④ 履修科目全体のGPA 2.5以上あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者				
審査	書類審査 面接試問 ※11月中に実施	待遇	本学施設費および協定校の授業料免除(帰国後、領収書と引換えに授業料を返金)		
履修内容	① 留学生向けのプログラム(対外漢語教育学院)：現地で行なわれるプレイメント試験(クラス分けのための試験)を受ける必要がある。その結果に応じて、所属のクラスが指定される。単位については、本学で履修内容を審査のうえ、20単位を上限に認定される。※単位認定の詳細については32～33ページ参照 ② 正課科目：正規の学部授業を受講するためには、留学手続開始までにHSK6級(180点以上)を取得している必要がある。修得した単位は帰国後本学で審査のうえ、40単位(①の20単位含む)まで認定される。※単位認定の詳細については33ページ参照				
生活環境	① 滞在先：北京大学キャンパス内留学生宿舎(1か月約5.3万円) ※入居時に別途預り金約5.3万円が必要 ② 食事：北京大学キャンパス内の学生食堂(1食200円前後)のほか、韓国料理、イスラム、薬膳など、さまざまな国の料理が安価で利用できる。				
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等(為替の変動により概算となる。中国元18円で試算) 【北京大学への授業料】約75万円(帰国後、領収書と引換えに返金されます。) ※申込金・教材費等別途要。 【北京大学への申請費】約1万円 【宿泊費】約75万円 【航空運賃・ビザ申請料】約20万円 【海外旅行保険】約15万円 【健康診断料】約1.5～3万円 【食費、その他】約50万円 【医療保険(北京大学指定)】約2万円 【1年間合計】約230万円(約165万円※) ※帰国後、返金される授業料を除いた場合 ※派遣留学生には、別途月額4万円の奨学金が支給される。				
備考	① 応募予定の学生は、出願前に必ず中国語検定またはHSKを受験し、証明書を入手しておくこと。 ② 派遣先と同じ国籍を有する場合、派遣留学が許可されないため、国籍については出願の前に確認すること。 ③ 派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることがある。				

中国 周口師範学院

中国中央部にある河南省に位置し、1973年に開校後、周口教育学院と統合して現在の周口師範学院となりました。教員を養成する総合大学で、日本語を含む外国語学部を有しています。周口市は老子生誕の地でもあります。


※英語圏・中国語圏については、派遣先大学が増える可能性があります。

2026年4月～2027年3月(原則2月下旬出発)

申込締切	2025年6月6日(金) 場所：国際交流センター(5号館5階) ※応募書類は20ページ参照	
募集人数	原則として1名以内	

応募資格 (応募時)	① 学部1～3年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を、学部において30単位以上を修得する見込みの者 ③ 英語試験IELTS 5.0以上の場合は大学学部での授業(理系等を除く一般的な科目)を履修することができます。出願には必ずIELTSのスコアを提出が必要ですが、IELTS 4.5以下の場合においては、他試験のスコア(英検、TOEFL、TOEIC)によっては留学が可能なこともある。 ※申込期限(6月6日)までにIELTSスコアを提出できない学生は、IELTSスコア以外の全ての出願書類を申込期限までに国際交流センターに提出し、6月7日までにIELTS試験を受験し、6月20日までにIELTSスコアを提出すること。 ④ 履修科目全体のGPA 2.5以上(あるいは見込)あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者				
審査	書類審査 面接試問 ※日程等詳細は別途案内	待遇	・留学期間中の本学施設費全額免除。 ・先方への授業料は全額免除となるため、派遣先大学への授業料負担はなし。	派遣先コースの 英語力要件(目安)	・大学学部レベル：IELTS 5.0以上 ただし、IELTS 4.5以下の場合は、他試験のスコアの提出を求めることがある。
履修内容	派遣先大学国際学部の正課科目を履修。修得した単位については、本学で履修内容を審査のうえ、大学学部の正課科目において40単位まで認定される。例外として、語学学習関連、特定の科目(理系、アート、音楽等)は、認定されないことがある。※各プログラムにおける単位認定の詳細については、別途、国際交流センターに確認すること。				
生活環境	原則として派遣先大学が指定する宿舎または学生寮。滞在先は複数あり、それぞれ仕様、設備、広さに応じて料金が異なる。希望通りの宿舎にならないこともあり。個室の場合は月に4万円程度、2人1部屋だとその半額程度、4人1部屋だとさらにその半額となり、生活費用はほかの海外諸外国と比較して大幅に低く抑えられる。				
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等(為替の変動により概算となる。台湾元5円で試算) 【宿泊費】48万円 【航空運賃・ビザ申請料】12万円 【現地大学保険・海外旅行保険】10万円 【健康診断料】2万円 【食費、その他】50万円 【学費】0円 【合計】122万円 ※学費の負担：派遣先授業料の負担はない。※派遣留学生には別途、4万円の奨学金が支給される。				
備考	派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることがある。				

2026年9月～2027年8月(予定)

申込締切	2025年10月9日(木) 場所：国際交流センター(5号館5階) ※応募書類は20ページ参照	
募集人数	2名以内	

台湾 中国文化大学

台湾最大の総合大学です。陽明山の中腹に広大なキャンパスを構えるほか、台北市内にもサテライト教室を設け、社会人向けの授業も行なっています。キャンパス内の華岡博物館は、台湾一の大学博物館で、5万点の収蔵品を誇ります。

2026年9月～2027年8月 (予定)

申込締切	2025年10月9日(木) 場所：国際交流センター(5号館5階) ※応募書類は20ページ参照
募集人数	2名以内



応募資格 (応募時)	<ul style="list-style-type: none"> ① 文学部1～3年次生(1年次生は別途要件あり)、国際政治経済学部1～3年次生、大学院研究科博士前期課程1年次生、修士課程1年次生、博士後期課程1、2年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を学部においては30単位以上、博士前期課程並びに修士課程においては16単位以上、博士後期課程においては、8単位以上を修得する見込みの者 ③ 中国語検定3級以上、またはHSK5級180点以上 ④ 履修科目全体のGPA 2.5以上あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者 		
審査	書類審査 面接試験 ※11月中に実施	待遇	本学施設費および協定校の授業料免除
履修内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 留学生向けのプログラム：現地で行なわれるプレイズメント試験(クラス分けのための試験)を受ける必要がある。その結果に応じて、所属のクラスが指定される。単位については、本学で履修内容を審査のうえ、20単位を上限に認定される。※単位認定の詳細については33ページ～参照 ② 正課科目：現地で所定の手続きを行なう必要がある。修得した単位は帰国後本学で審査のうえ、40単位(①の20単位含む)まで認定される。※単位認定の詳細については33ページ～参照 		
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ① 滞在先：中国文化大学キャンパス内留学生宿舍(宿舍費免除)【寝具代】約7,000円 ※入居時に別途預り金約7,000円が必要 男子寮(2～3人で1ルーム) 女子寮(4～6人で1ルーム) 設備：ベット、机、椅子、書架、タンス、電気スタンド等(男子寮のみエアコン付) ② 食事：中国文化大学キャンパス内の学生食堂が便利(1食300円～500円程度)。 		
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等(為替の変動により概算となる。台湾元5円で試算) 【航空運賃・ビザ申請料】約15万円 【海外旅行保険】約15万円 【健康診断料】約2万円 【食費、その他】約60万円 【1年間合計】約95万円 ※派遣留学生には、別途月額3万円の奨学金が支給される。		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ① 応募予定の学生は、出願前に必ず中国語検定またはHSKを受験し、証明書を入手しておくこと。 ② 派遣先と同じ国籍を有する場合、派遣留学が許可されないため、国籍については出願の前に確認すること。 ③ 派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることがある。 		

韓国 成均館大学校

1398年に創設された成均館を母体とし、約600年の歴史を有する韓国有数の大学です。人文・社会学系のソウルキャンパスと自然科学系のスウォンキャンパスの2つがあります。また、韓国語学習者のための成均語学院があります。

2026年4月～2027年3月 (原則2月下旬出発)

申込締切	2025年6月6日(金) 場所：国際交流センター(5号館5階) ※応募書類は20ページ参照
募集人数	2名以内



応募資格 (応募時)	<ul style="list-style-type: none"> ① 文学部1～4年次生、国際政治経済学部1～4年次生、大学院研究科博士前期課程1年次生、修士課程1年次生、博士後期課程1、2年次生(履修内容が韓国語専攻に相応すること) ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を学部においては30単位以上、博士前期課程並びに修士課程においては16単位以上、博士後期課程においては、8単位以上を修得する見込みの者 ③ ハングル能力検定3級以上、または韓国語能力検定3級(中級)以上 ④ 履修科目全体のGPA 2.5以上あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者 		
審査	書類審査 面接試験 ※6月中に実施	待遇	本学施設費および協定校の授業料免除
履修内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 留学生向けのプログラム(成均語学院)：現地でプレイズメント試験(クラス分けのための試験)を受け、その結果に応じて、所属のクラスが指定される。修得した単位については、本学で履修内容を審査のうえ、20単位を上限に認定される。なお、プログラムを受講するには、渡韓前に申し込みを行う必要がある。※単位認定の詳細については33ページ～参照 ② 正課科目：原則として、学部・語学レベルに関らず開講されているすべての科目を履修することができる。修得した単位は帰国後本学で審査のうえ、40単位(①の20単位含む)まで認定される。※単位認定の詳細については33ページ～参照 		
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ① 滞在先：成均館大学校留学生寮(1か月約4.5万円)2人～8人部屋(設備：シャワールーム、ベッド、机、椅子、クローゼット、電気スタンド、寝具等) ※学期間の長期休業中は、一時退寮し、各個人で手配した他の滞在先に移動する必要がある。 ② 食事：昼食は、キャンパス内の食堂、または学生街の食堂が便利(1食500円前後)。また、学生寮には共同のキッチンがある。 		
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等(為替の変動により概算となる。韓国ウォン0.1円で試算) 【宿泊費】約50万円 【航空運賃・ビザ申請料】約10万円 【海外旅行保険】約15万円 【健康診断料】約2万円 【食費、その他】約60万円 【1年間合計】約140万円 ※派遣留学生には、別途月額4万円の奨学金が支給される。		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ① 応募予定の学生は、出願前に必ずハングル能力または韓国語能力検定を受験し、証明書を入手しておくこと。 ② 派遣先と同じ国籍を有する場合、派遣留学が許可されないため、国籍については出願の前に確認すること。 ③ 派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることがある。 		

韓国 建国大学校

1946年に創立され、ソウルキャンパス、グローバルキャンパスの2つをもつ総合大学です。「時代をリードする知性、世界への挑戦」というキャッチフレーズを制定し、国際化社会に対応する人材の育成に努めています。

2026年4月～2027年3月 (原則2月下旬出発)

申込締切	2025年6月6日(金) 場所：国際交流センター(5号館5階) ※応募書類は20ページ参照
募集人数	2名以内



応募資格 (応募時)	<ul style="list-style-type: none"> ① 文学部1～4年次生、国際政治経済学部1～4年次生、大学院研究科博士前期課程1年次生、修士課程1年次生、博士後期課程1、2年次生(履修内容が韓国語専攻に相応すること) ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を学部においては30単位以上、博士前期課程並びに修士課程においては16単位以上、博士後期課程においては、8単位以上を修得する見込みの者 ③ ハングル能力検定3級以上、または韓国語能力検定3級(中級)以上 ④ 履修科目全体のGPA 2.5以上あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者 		
審査	書類審査 面接試験 ※6月中に実施	待遇	本学施設費および協定校の授業料免除
履修内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 留学生向けのプログラム：現地で行なわれるプレイズメント試験(クラス分けのための試験)を受け、その結果に応じて、所属のクラスが指定される。修得した単位については、本学で履修内容を審査のうえ、20単位を上限に認定される。なお、プログラムを受講するには、渡韓前に申し込みを行う必要がある。※単位認定の詳細については33ページ～参照 ② 正課科目：原則として、学部・語学レベルに関らず開講されているすべての科目を履修することができる。修得した単位は帰国後本学で審査のうえ、40単位(①の20単位含む)まで認定される。※単位認定の詳細については33ページ～参照 		
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ① 滞在先：建国大学校留学生寮 ② 食事：昼食は、キャンパス内の食堂、または学生街の食堂が便利(1食500円前後)。また、学生寮には共同のキッチンがある。 		
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等(為替の変動により概算となる。韓国ウォン0.1円で試算) 【宿泊費】約50万円 【航空運賃・ビザ申請料】約10万円 【海外旅行保険】約15万円 【健康診断料】約2万円 【食費、その他】約60万円 【1年間合計】約140万円 ※派遣留学生には、別途月額4万円の奨学金が支給される。		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ① 応募予定の学生は、出願前に必ずハングル能力または韓国語能力検定を受験し、証明書を入手しておくこと。 ② 派遣先と同じ国籍を有する場合、派遣留学が許可されないため、国籍については出願の前に確認すること。 ③ 派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることがある。 		

その他の言語圏(フランス語)への学部レベルの派遣留学について

協定校(ボルドー・モンテーニュ大学またはリール大学)に、9月頃から1年間の派遣留学が可能です。語学要件として、学部レベルの授業を履修するにはフランス語能力試験DELFにおいてB2以上のスコアが必要です。学部レベルでの派遣留学は学費免除となります。語学要件が足りない場合はそれぞれの大学の付属語学学校に通学します。付属語学学校の授業料は派遣留学生の負担となる場合があります。フランス語圏への派遣留学に興味のある学生は、国際交流センターまでお問い合わせください。

ボルドー・モンテーニュ大学

日本語学科もある総合大学で、キャンパスはフランス南西部にある世界的なワインの産地として知られるボルドーにある。首都パリから高速鉄道TGVで2時間ほどの距離。

リール大学

フランス北部のベルギーとの国境にほど近い街、リールにある1854年に設置された歴史ある大学。所属学生数は18,000名程度。外国語学部には日本語学科も設けられており、日本語を学んでいる現地学生も在籍している。

大学院

申し込みは、留学する前年の7月末までに国際交流センターにお問い合わせください。

	浙江工商大学	中国の東部、上海に接する浙江省の省都杭州にある総合大学。1911年に創立されて以来、現在は9学部を持つ。本学にも同大学からの留学生を受け入れている。
	ボルドー・モンテーニュ大学	フランス南西部にある総合大学。言語教育に力を入れており、日本語学科を有する。
	リール大学	フランス北部に位置する国内有数の大都市リールの郊外にある。人文・芸術・行政・社会科学を専門とする国立大学である。
	カ・フォスカリ大学	イタリアのヴェネツィアにある国立大学。ドルソドゥーロ地区にあるカ・フォスカリをキャンパスとして使用している。多数のインターナショナル・プログラムを含んだイタリア語と英語によるコースを提供している。
	エトヴェシュ・ロラード大学	ハンガリーの首都、ブダペストに位置する約380年の歴史を持つ公立大学で、同国で最も歴史が古く大規模な大学である。過去に5人のノーベル賞受賞者を輩出しており、教育水準の高さを誇っている。

国際交流センターのサポート



二松学舎大学の国際交流センターでは、「留学」「異文化交流」「外国語」に関する業務を行っています。悩みや疑問にお答えします。気軽に国際交流センターにお立ち寄りください。

▲ 国際交流センター紹介動画

国際交流サポーター制度 外国人留学生と交流できる機会！

二松学舎大学での勉強や日本での生活について外国人留学生が困ったり悩んだりしているときに相談のり、日本での学生生活を楽しく過ごせるよう、国際交流サポーター（パディ（友人）/チューター）としてサポートを行います。入学したばかりの外国人留学生がスムーズに日本での生活になじめるよう、手助けをします。

本学の日本人学生を対象に公募しますので、外国人の友だちを作りたい！外国人に日本の良さを伝えたい！そんな方はぜひ QR コードからご登録ください。



留学生パディの声（国際政治経済学部）

交流を通して、あらゆる考え方を知り、異なる価値観に対しての寛容性が増した実感があります。また、相手が日本に興味をもって来て、日本語を学んでくれることが、日本人としてとてもうれしいです。

留学生パディ交流会 参加者の声（留学生）

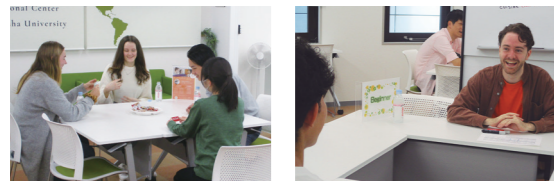
初めて皆さんに会ったときは、緊張しました。でも少し話すと、すぐに友だちになることができました。日本の文化、歴史などの知識も深まりました。今後このような活動があれば、また参加したいです！



▲ 登録はこちらから！

\\ イングリッシュ・カフェ //

外国語課外講座（イングリッシュ・カフェ）では、英語が母語のネイティブスピーカーの講師と昼休みの時間などの空き時間に英会話ができます。トラベル英会話、ショッピング、自己紹介、時事など様々な話題で英会話を楽しめます。他の言語でも実施を計画しています。



保護者の声

- ☑ 無事に日本に帰国でき楽しい体験ができたこと聞き、私も嬉しい気持ちでいっぱいです。ホストファミリーに親切にいただき、友人もできたようです。何度も電話で相談にのっていただき、ご親切とサポートに心よりお礼申し上げます。（短期海外語学研修に参加した学生の保護者）
- ☑ 国際交流懇親会で知り合った留学生と附属高校野球部の試合観戦に行きました。お揃いの二松Tシャツとメガホンで応援をし、とても楽しい時間でした。歴史文化学科に通う娘も友だちができ、国際交流センターの活動には感謝しております。（外国人留学生との交流行事に参加した保護者）

▶▶▶ 国際交流センターを活用しよう

留学カウンセラーによる留学相談

自分に合った留学スタイル、目的に応じた留学先・期間・プログラムなど、どのようなことでも個別相談することが可能です。海外での危機管理のアドバイスなども行っています。（事前予約可）

【相談者の声】

派遣留学制度に提出する留学計画書を書く際のアドバイスなどの確に教えてくださりとても助かりました。わからないことを聞いてもすべて答えてくださり大変安心感がありました。相談をしてよかったです。

留学費用の助成や奨学金制度が充実

長期留学に行く派遣留学生は留学期間中に全員奨学金がもらえます。
金額：月3～4万円（最長12か月）

留学先大学の学費は原則免除！
長期留学に行く学生全員が
奨学金をもらえるなんて
すごいニャー！



語学検定試験の対策講座を定期的に実施

IELTS など主要な語学検定試験の対策講座を外部の講師を招いて実施しています。長期留学プログラムに応募する際の対象試験のスコアアップ、就職活動の際の自己アピールなど、検定試験で高得点を目指すための講座です。（正式講座名：外国語試験対策課外講座）

各種語学検定試験の受験料を助成する制度を実施しています。
※詳細は27ページを参照

代表的な語学力テスト・外国語課外講座他

二松学舎大学の交換留学プログラムを利用する場合も含め、海外の大学に留学する際には、語学力テストのスコアを提出し、語学力についての条件をクリアする必要があります。

テストの名称	概要	試験日程	受験（検定）料	派遣スコア基準	受験料助成*	助成金額
★ IELTS™ (アイエルツ)	International English Language Testing System (IELTS™) は、海外留学のために英語力を証明する試験。英国大学への留学には IELTS-UUKVI を受験します。4 技能（リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング）から成り、1 から 9 (最高) までの 0.5 刻みで採点されます。	毎週	25,380 ~ 29,400 円	英語研修レベル：5.0 以上 大学学部レベル：6.0 以上	あり	2 万円
TOEFL iBT® (トフルアイビーティー)	TOEFL テストは、英国、米国、オーストラリア、カナダを含め、150 か国 10,000 以上の大学や機関に認められています。各セクション 30 点満点で、トータル 120 点満点で採点されます。	月 3 ~ 6 回 (年間 45 回以上)	US\$245	-	-	-
TOEIC® (トイック)	Test of English for International Communication (TOEIC®) は、日常生活やビジネスシーンにおける英語によるコミュニケーション能力を幅広く測定するテストです。キャリアアップ、就職活動など、さまざまな場面で役立ちます。リスニングセクションとリーディングセクションが各 495 点満点で、トータル 990 点満点のテストです。	年間 10 回	7,810 円	-	あり	5,000 円
英検 (実用英語技能検定)	英検は日本人にはなじみ深いテストで、小学生から社会人まで幅広い人が対象の英語検定試験です。5 級から 1 級（上級）まであり、3 級以上は口頭試験があります。	年 3 回	2,500 ~ 12,500 円 (級により異なる)	-	-	-
★ HSK (エイチエスケ)	HSK は、中国政府教育部が公認する資格です。「筆記」と「口試（口頭試験）」の 2 種類があり、筆記は 1 級から 6 級（上級）、口試は初級・中級・高級があります。	年 12 回 (ほぼ毎月実施)	3,850 ~ 11,550 円 (級により異なる)	5 級 (180 点) 以上	あり	5,000 円 (3 ~ 6 級) ※ 1 ~ 2 級は助成なし
★ 中国語検定試験	中国語検定試験は、日本国内において中国語の学習成果を測る指標として最も多く利用されている資格試験です。準 4 級から 1 級（上級）まであり、準 1 級以上は口頭試験があります。	年 3 回 (3、6、11 月の第 4 日曜日)	3,500 ~ 11,800 円 (級により異なる)	3 級以上	あり	5,000 円 (3 ~ 1 級) ※ 準 4 ~ 4 級は助成なし
★ ハングル能力検定試験	日本で初めての韓国・朝鮮語検定試験として、1993 年から実施されています。日本人がハングルを習得し、日本語での自然な対訳までを出題範囲とする点が特徴です。5 級から 1 級（上級）まであり、1 級は口頭試験があります。	年 2 回 (6、11 月)	3,700 ~ 10,000 円 (級により異なる)	3 級以上	あり	5,000 円 (3 ~ 1 級) ※ 5 ~ 4 級は助成なし
★ 韓国語能力試験 (TOPIK)	大韓民国政府（教育省）が認定・実施する韓国語（ハングル）試験です。TOPIK I (1 ~ 2 級) と TOPIK II (3 ~ 6 級) があり、点数によって級が決まります。	年 6 回 (日本で受験できるのは 3 回)	5,000 ~ 7,000 円 (級により異なる)	3 級以上	あり	5,000 円 (TOPIK II) ※ TOPIK I は助成なし
★ DELF/DALF (デルフ/ダルフ)	フランス国民教育省が認定する唯一の公式フランス語資格です。フランス語圏の大学へ留学する際の基準となっています。A1 ~ B2 (DELF、初・中級) と C2 ~ C1 (DALF、上級) に分かれています。	年 2 回 (6、11 月)	10,000 ~ 30,000 円 (レベルにより異なる)	B2 以上	予定	助成金が出るなら新しい試験に挑戦してみようニャー
実用フランス語技能検定試験	文部科学省および在日フランス大使館文化部の後援で実施されているフランス語の技能検定試験です。5 級から 1 級（上級）まであり、準 2 級から口頭試験があります。	年 2 回 (6、11 月)	5,000 ~ 14,500 円 (級により異なる)	-	-	-
実用イタリア語検定試験	「読み・書き・聴き・話す」能力の向上につながり、毎年春と秋に実施しています。5 級から 1 級（上級）まであり、2 級以上は口頭試験があります。春季検定では 5 級から準 2 級、秋季検定ではすべての級が実施されます。	年 2 回 (3、10 月)	5,220 ~ 15,220 円 (級により異なる)	-	-	-

★ 本学の交換留学プログラムに応募する際の対象試験です。
※ 詳細は、国際交流センターにお問い合わせください。



外国語課外講座・外国語試験対策課外講座の受講者の声



外国語課外講座 | 英語

文法や語彙には自信はなかったのですが、知っている単語だけでも声に出せば意外と通じるのだということがわかり、英語学習への意欲と自信になりました。

外国語課外講座 | 韓国語

ハングルの歴史から基礎的な構造を知りました。韓国の事情、韓国コスメ、K-POP の話も聞けて、興味をもって参加できました。韓国人の方とお話できて楽しかったです。



外国語試験対策課外講座 | HSK

HSK のテストがどのようなものか理解できました。中国語が苦手な私でも非常にわかりやすい解説でした。特に、発音の練習が出来てよかったです。

外国語試験対策課外講座 | IELTS

ネイティブの先生から生きた英語を学ぶことで、日本語に訳さず英語のまま内容を理解し考えられる習慣が身につきました。また、失敗を恐れず、積極的に発言できました。



海外での危機管理と注意点について

海外留学においては、留学の形態や渡航先に関わらず、安全管理の意識を持つことが求められます。渡航先の治安状況等に関する十分な知識を身につけ、危険回避できるように事前の情報収集も行いましょう。

自分の身は自分で守る！

日本国内の高い安全基準とは異なる海外においては、予期しない事件や災害だけでなく、軍事行動に巻き込まれることもあります。このような状況下では、自己責任においてとっさの判断が求められることが少なくありません。海外での安全確保においては、外務省が提唱する「自分の身は自分で守る」という危機管理の意識を常にもつことが大切です。戦争、テロ、自然災害、感染症といった重大な事故や事件は本人の注意には関係なく起こりえます。また、日常生活においてよくあるトラブルとして、スリ、盗難、体調不良、メンタルヘルスなどは本人の注意や事前の対策で回避できることもあります。充実した留学を終えるためにも、留学中は常に危機管理の意識を持って生活してください。

【外務省発表の危険情報と留学の実施判断について】

本学では、外務省の海外危険情報のレベルに合わせて、短期海外語学研修および派遣留学の実施・継続の可否等を判断しています。レベル2（不要不急の渡航は止めてください）以上の危険情報が発出されている国や地域での短期海外語学研修および派遣留学は中止となることがあります。ただし、派遣留学においては、渡航時期の変更・延期や渡航先の変更等を認めたくうえで実施することがあります。渡航前には外務省の海外旅行登録システム「たびレジ」または「在留届」の登録をすませておきましょう。

国際交流センターでは、海外危機管理セミナーを実施しています。また、専門知識を持つ留学カウンセラーや海外事情に精通した職員もおりますので、事前にご相談ください。

留学に役立つ学外の情報提供機関

<p>〈アメリカ〉 EducationUSA</p> 	<p>〈英国〉 ブリティッシュ・カウンシル</p> 	<p>〈オーストラリア〉 オーストラリア留学情報政府 公式ウェブサイト</p> 	<p>〈カナダ〉 カナダ大使館</p> 	
<p>〈ニュージーランド〉 EducationNewZealand</p> 	<p>〈中国〉 中華人民共和国駐日本国大使館</p> 	<p>〈韓国〉 StudyinKorea (NIIED)</p> 	<p>〈台湾〉 台北駐日経済文化代表処</p> 	
<p>海外安全情報配信サービス 「たびレジ」/ 在留届電子届出システム 「オンライン在留届」(外務省)</p> 	<p>外務省海外安全 ホームページ</p> 	<p>世界の医療事情 (外務省)</p> 	<p>独立行政法人 日本学生支援機構</p> 	<p>文部科学省トビタテ！ 留学 JAPAN</p> 

よくある質問

学生や保護者の方からよく受ける質問をまとめました。ここにはない質問があったら、気軽に国際交流センターへお問い合わせください。

留学したいのですが、何から始めたらいいかわかりません。

本冊子、「留学の手引き」の「留学までのステップ」(10ページ)にある「計画の立案」を参考にしてください。留学までのステップが分かりやすく解説してあります。また、国際交流センターには留学カウンセラーの資格を持つスタッフがおりますので、ご相談ください。



留学先の言語がまったくできなくても、留学できますか？

短期海外語学研修は、語学力の向上を目的としているため、原則、外国語の初級者でも参加可能です。ただし、ケンブリッジ大学(英国)での研修参加には、外国語力要件(英語力IELTS 4.0以上程度)があります。長期の派遣留学には、応募資格に外国語力要件(派遣先によって要件の内容は異なる)を満たした学生のみが申請可能です。

同じ言語圏で派遣先大学を併願することはできますか？

できます。応募の際は、第一希望をうかがっています。しかし、学内選考の結果や派遣先の国への渡航制限により、第一希望以外の国や大学に派遣される可能性もあります。

短期海外語学研修の申し込みの締め切りが早いので、参加が決めにくい。締め切り後でも受け付けしてもらえますか？

締め切り後の申し込みは、受け付けません。短期海外語学研修の締め切りはおおよそ6か月前となります。派遣先大学の研修の締め切り間に合うように設定されています。研修の参加は長期的な視野で計画してください。

複数の研修先があるのですが、どれがお勧めですか？

留学の目的は、人それぞれ異なりますが、自身の留学の目的に合った留学先がおすすめです。短期海外語学研修は、海外に慣れていなく安心して異文化交流をしたい学生に適しています。長期の派遣留学は、高い語学力を習得し、現地の学生とともにしっかりと学びたい学生に適しています。本学の短期海外語学研修は、安全面と提供される教育の質はもちろんですが、個性的かつその国の良い季節に実施し、その国らしさを理解できるように提供しています。また、単位の認定など学生にとって有意義な研修プログラムになっていますので、在籍中に複数の研修プログラムへの参加も検討してみてください。

英語と中国語を勉強しています。両方の交換留学に応募できますか？

同時に異なる言語圏の大学に応募することはできません。なお、台湾の銘伝大学では、英語で授業を履修しますので、英語での学修と中国語での生活となる多様性のある留学が可能となります。

現在、大学3年生または4年生ですが、留学に行けますか？

3年生の場合、短期海外語学研修への参加は可能です。ただし単位の認定科目区分は総合教養科目のみとなりますので、すでに総合教養科目の単位が十分にある場合、卒業に必要な単位にならないことがあります。長期の派遣留学への出願は可能ですが、留学を開始するのが4年生になるため、4年生の9月に留学を開始した場合は、卒業までに5年以上かかることもあります。4年生の場合も短期海外語学研修への参加は可能です。ただし、春期(2月ごろ)の研修は年度末の実施となるため、単位の認定はありません。長期の派遣留学は、一部の派遣先大学によっては4年生でも出願が可能です。この場合は5年目で留学することとなり、卒業までに6年かかることもあるので慎重な計画が必要になります。

留学すると、外国語が話せるようになりますか？

個人の資質や力による傾向が多いですが、長期の派遣留学では海外で過ごす時間や話す機会が大変多く、高いレベルでの言語能力が習得されるため、コミュニケーションの力がつくと想定されます。派遣留学では、特に現地で正規科目を現地の学生とともに履修することが見込まれるため、学術的に高度な外国語を話す機会があります。短期海外語学研修では、短期間であることから、長期派遣留学と比較すると外国語能力向上の効果は低くなりますが、外国語を話す機会は国内よりも飛躍的に増えるため、人によっては大きく向上することが見込まれます。

留学中、国際交流センターは何かサポートをしてくれますか？

はい。留学中のトラブルや心配事など、何でもご相談ください。学生の立場に立ってサポートします。また、留学の際に加入する海外旅行保険には、24時間365日、日本語で相談できるサービスがついています。

留学中の成績が悪かった場合、途中で帰国させられますか？

はい。留学先大学もしくは本学が、学業不振や出席不良など、派遣留学生として相応しくないと判断した場合は、プログラムの途中で留学を中止し帰国を命ずることがあります。

留学中にアルバイトやインターンシップ、車の運転をしてもよいですか？

アルバイトやインターンシップは、海外での貴重な経験にもなるので、本来の学修に影響のない範囲であれば制限はありません。ただし、派遣先の国が定める就労時間の制限や業種・職種選びは十分注意してください。車(自動二輪車を含む)の運転は禁止しています。

留学が中止されることはありますか？

本学では留学生の安全を最優先としている観点から、留学を中止する場合があります。外務省の発表する海外安全情報および感染症危険情報(28ページ)がレベル2以上の国や地域への留学は原則、実施しません。最終的な実施可否は、本学で定めた海外への学生派遣基準により決定します。またすでに海外にて留学中であっても留学先での安全確保の観点から留学中止及び帰国勧告することがあります。

第1章 総則	(帰国後の履修手続き) 第11条 派遣留学生は、帰国後指定期日までに、継続履修科目を含め当該年度の履修登録を行わなければならない。
(目的) 第1条 この規程は、二松学舎大学（以下「本学」という。）と海外協定校（本学との交流を书面により約した海外の大学、若しくはそれに準じた教育・研究機関）との学生の交換留学に関して必要な事項を定める。	2 学年暦の国際的差異等の事情により、本学所定の期日に履修手続きを行えない場合は、その手続きの時期を延期することができる。
(名称) 第2条 この規程により本学から海外協定校に派遣する学生を「派遣留学生」といい、海外協定校から本学に受入れる学生を「交換留学生」という。	(特定科目の履修上の特例) 第12条 セミナール、卒業論文等特定科目の履修が正規の履修方法によりがたい場合は、学部の教授会又は大学院の研究科委員会の議を経て、履修上の特例を認めることができる。
第2章 派遣	(特別試験) 第13条 学年暦の国際的差異等により、本学の定期試験を受験できない場合は、授業担当者による特別試験をもって評価を行う。
(資格) 第3条 派遣留学生となることのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。 (1) 学部にて1年以上在籍し、前年度までに30単位以上修得した者 (2) 大学院にて1年以上在籍し、前年度までに博士前期課程においては、16単位以上、博士後期課程においては、8単位以上修得した者	(学費納入) 第14条 派遣留学生の留学期間中の本学の授業料等納付金は、別に定めるところにより、その一部を免除する。 2 海外協定校への授業料、登録料その他納付金については、原則として免除される。ただし、海外協定校との協議により特段の定めがある場合は、定められた納付金を海外協定校に支払わなければならない。
第4条 派遣留学を志望する者は、所定の募集期間中に所定の留学願、留学計画書、及びその他必要な書類を国際交流センターに提出しなければならない。	(学則の遵守等) 第15条 派遣留学生は、留学期間中は海外協定校の学則等諸規程を遵守するとともに、海外協定校が主催する国際交流等の催事に積極的に参加するよう努めなければならない。 2 派遣留学生は、月例報告書を本学に提出しなければならない。

(選考等) 第5条 派遣留学生の選考は、教授会又は研究科委員会が行う。 2 国際交流委員会は、前条の提出書類及び面接試問等により審査し、派遣留学生候補者を当該学生の所属する学部の教授会又は大学院の研究科委員会に推薦する。 3 学長は、当該学生の所属する学部の教授会又は大学院の研究科委員会の議を経て、留学を許可する。	(留学の辞退) 第16条 出発前に留学の事由が消滅したとき、又は特別の事由により留学することが不可能になった場合は、ただちに「留学辞退届」を提出しなければならない。 2 前項の届出に基づき、当該学生の所属する学部の教授会、大学院の研究科委員会の議を経て、学長が留学の許可を取り消す。
---	---

(留学期間) 第6条 留学期間は、1年以内とする。ただし、本学がやむを得ない事情と認めたときは、申請により1年を限度に延長することができる。 2 前項の留学期間は、本学の修業年限に算入する。ただし、算入できる期間は、1年を限度とする。	(身分の取り消し) 第17条 派遣留学生が留学期間中に次の各号の一に該当するときは、海外協定校と協議の上、派遣留学生の身分を取り消すことがある。 (1) 留学先における学業成績不良で改善の見込がないとき (2) 学生の本人にもとめる行為を行ったとき (3) 学費納入等定められた義務を怠ったとき (4) 病気等により留学の継続が困難であると認められるとき (5) 留学取り消しを申し出たとき
---	---

(留学の始期及び終期) 第7条 留学の始期は4月1日又は10月1日とし、終期は3月31日又は9月30日とする。 2 前項に定める期日の前後に出国又は帰国した場合でも、前項の期日とする。ただし、帰国後卒業・修了年次に在籍する学生の留学の終期は、日本への帰国日とする。	(派遣留学の中止) 第18条 派遣留学生の滞在する国・地域に、天災地変、戦乱、暴動、伝染病等が発生し、学生の安全が確保できない恐れのある場合は、学長は留学の中止を決定し、帰国命令等を発令することができる。 2 派遣留学生は、前項の命令が出た場合は、速やかに日本へ帰国しなければならない。
--	---

(留学終了の報告) 第8条 留学を終えて帰国した者は、帰国の日から14日以内に次の書類を提出しなければならない。 (1) 留学終了届 (2) 帰国報告書 (3) 在籍期間証明書 (4) 成績証明書	第3章 受入れ (省略)
---	-----------------

(単位認定) 第9条 留学先で修得した授業科目の単位又は履修内容については、本学学則第48条又は本学大学院学則第11条により単位を認定する。 2 単位認定を希望する者は、帰国の日から14日以内に次の書類を提出しなければならない。 (1) 単位認定申請書 (2) 履修科目毎の年間授業時間数並びに単位数を証明する書類	第4章 補則 (施行細則) 第33条 この規程の施行についての細則等必要な事項は、別に定める。
3 単位の認定は、学部にあつては、当該学生の所属する学部の教務委員会の審議を経て、教授会が行い、大学院にあつては、当該学生の所属する大学院の研究科委員会が行う。 4 前項により本学の卒業要件又は修了要件を充足した者は、帰国した年度で卒業又は修了することができる。	(事務の所管) 第34条 海外協定校との学生受入れ、派遣に関する事務は、国際交流センターが主管する。

(授業科目の継続履修) 第10条 通年開講科目については、出国年度の春学期に履修した授業科目を、帰国後帰国年度の秋学期に継続して履修する（以下「継続履修」という。）ことを認める。 2 出国年度に履修した通年の科目が帰国年度に開講されていない場合等継続履修することが困難な場合は、当該学生の所属する学部の教授会又は大学院の研究科委員会がその措置を決定する。	附 則 この規程は、平成12年4月1日から施行する。 この規程は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第14条の規定は、平成17年度の派遣留学生から適用し、平成16年度の派遣留学生については、従前の規定による。 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
---	---

附 則 この規程は、平成26年4月1日から施行する。	
-------------------------------	--

休学して留学する場合の手続きと注意点を教えてください。

本学の協定校でない大学などに休学をして私費留学する場合は、九段1号館3階の学生支援課に「休学届」「海外渡航書」を提出し、「休学の手続き」を行います。休学期間中は在籍料（年間10万円）が必要になります。休学期間は、本学の修業年限として計算されませんので、学部生の場合は卒業までに5年以上かかることとなります。

留学費用はさまざまですが、内容が違うのでしょうか？

短期海外語学研修の費用の大きな違いは、航空券の費用と派遣先国の物価によるものです。その次に、現地での研修内容（学外視察の回数や研修時間数）、宿泊形式の違いによるものです。航空券費用の高い時期に物価の高い国での研修先（夏期における英国やカナダ等）では、おのずと費用が高くなります。各プログラムの詳細は、13ページからご参照ください。

奨学金や助成金はありますか？

あります。19ページの「交換留学プログラム」の「派遣留学生（英語圏）助成金制度」をご覧ください。加えて、国際交流センターでは語学検定試験の受験料助成制度もおこなっております。詳細は国際交流センターまでお問い合わせください。

留学した場合、卒業の単位に認定されますか？

短期海外語学研修に参加し、規定のプログラムを修了した場合は2科目4単位または1科目2単位が認定されます。認定科目区分は所定の科目、単位認定方法はZ（認定）またはD（不合格）の評価のどちらかになります。また短期海外語学研修に複数回参加することも可能です（詳細は12ページ参照）。長期の派遣留学の場合も、履修内容を審査のうえ、留学生向けプログラムにおいては20単位を上限、大学正課科目においては40単位まで原則として認定されます。留学先で取得した授業科目を、留学期間中の年度に本学で開講している授業科目に読み替えて単位認定審査を帰国後に行います。単位互換の成績はZ（認定）またはD（不合格）で判定されます。本学に認定される単位数は、留学先での授業時間数にて換算されます。よって、授業前後のリサーチ、研究、実験、発表等に学修の重点をおく欧米豪の大学においては授業時間数が少ないこともあり、十分な単位認定ができないことが考えられます。渡航前に本学で十分に単位を修得しておく等の対応を検討するようにしてください。

1年間留学しても学部を4年間で卒業できますか？

派遣留学期間は、本学の在籍期間として算入されるので、制度上は4年間で卒業が可能です。単位互換により、留学先で修得した単位を卒業単位に算入することができるので、これらの制度を利用して卒業に必要な要件を満たせば卒業できます。留学先で履修した授業科目と、本学で開講している授業科目が基本的にほぼ同一の授業内容であり、かつ所定の時間数（本学学則第26条）以上であれば、単位互換の申請ができます。よって、留学中に計画通りに単位を修得できなかった、本学の授業科目に読み替えられない科目を履修した場合は、4年間で卒業は難しくなります。

派遣留学の学内の競争倍率を教えてください。

年度、語学圏および派遣先により異なりますが、過去5年間においてはそれほど高倍率ではありません。倍率による理由で出願を取りやめることはせずに、積極的に出願を検討してください。

派遣留学の応募書類の提出や学内審査はどのような流れで行われますか？

応募書類の準備（募集説明会の参加、語学学習等）、応募書類の提出（留学願、留学計画書、語学力証明書等）、審査会、学内合格、協定校への出願準備、渡航準備、出発という流れです。詳しくは「留学までのステップ」（10ページ）をご参照ください。

留学の応募要件を満たしていないのですが出願できますか？

短期海外語学研修においては、語学要件のあるケンブリッジ大学（英国）の研修を除いては、原則外国語の初級者でも参加可能です。ただし、ケンブリッジ大学においても英語試験を受験していない学生であっても、研修前までに英語力をつけることを条件として、研修の参加を許可することもありますので、まずは気軽に申し込みください。長期の派遣留学では、応募資格として必要な語学要件およびGPAが定められているため、原則としてその両方の要件を満たした学生のみが申請可能です。しかしながら、派遣先大学によっては、要件の厳格さ等が異なる場合もあるので、要件を満たしていない場合でも国際交流センターに問い合わせる価値はあります。語学要件の場合、留学前までに要件を満たすことを条件として派遣留学を認めることもあります。また、出願時に語学能力試験の結果がない場合でも、試験受験予定日等を提出することで出願できることもありますので、事前に国際交流センターまで確認してください。GPAについては、履修科目全体で2.5以上あることが望ましいです。しかしながら、派遣先大学によっては、要件の厳格さ等が異なる場合もあるので、GPAを満たしていない場合でも出願できることもあります。また、GPAを保持していない1年生が出願した場合、出願年度の春学期の成績を踏まえて留学を認める「条件付き合格」となることもあります。

教職課程を考えていますが、長期の派遣留学に行っても4年間で卒業できますか？

本学および派遣先大学の学年暦の関係上、教職課程および派遣留学を修了して4年間で卒業することは時間的な制約から、大変難易度が高いのが現状です。教職課程における履修および実習が国内に限定されるため、留学期間中の履修等を他科目で認定することができないことによるものです。現実的には、4年間を超える計画で、派遣留学と教職課程の修了を計画することになります。詳細は教職課程センターおよび国際交流センターまで確認してください。

在学中に何回まで語学研修に行けますか？

短期海外語学研修に複数参加した場合、他言語、同一言語にかかわらず、最大4回の研修まで単位認定を行います。ただし、同一言語の研修に同一研修先大学での2回目以降の研修参加を希望する場合や前記にない例については、事前に国際交流センターに相談してください。認定科目区分は所定の科目に限定されるため、認定科目区分の上限を超えて履修した単位は、卒業に認定される単位とならないことがありますのでご注意ください。

交換留学制度の学内選考基準は何ですか？

学業成績、語学力、面接での評価により総合的に判断いたします。

留学中に修得した単位は、いつ成績に反映されますか？

夏期短期海外語学研修と長期派遣留学は、帰国した年の年度内に、春期短期海外語学研修は、帰国した年の翌年度に反映されます。また、長期派遣留学の単位認定は、40単位が上限です。

外国人留学生と交流してみたいです。どうしたらよいですか？

国際交流センターでは、本学に在籍する留学生の支援活動（学生生活の相談や国際交流イベント等）をサポートしてくれる国際交流サポーターやバディ学生を毎年、募集しています。懇親会などを通じて、外国人留学生と交流することができます。興味のある学生は国際交流センターにて登録してください。国際交流イベントの企画立案も募集していますので、たとえば自身が得意な分野（スポーツ、ダンス、音楽、観光、芸能等）の講習会の実施などは友だちをつくりやすいでしょう。国際交流サポーターへの登録はこちら▲



二松学舎大学派遣留学生奨学金規程

(2004年3月23日制定)

(目的)

第1条 この規程は、本学から海外協定校に派遣する学生（以下「派遣留学生」という。）に対し奨学金を給付して、その勉学を助成し、有為な人材の育成に資することを目的とする。

(対象)

第2条 本奨学金は、「二松学舎大学交換留学に関する規程」に基づき選考され、学長が留学を許可した派遣留学生を対象とする。

(奨学金の額)

第3条 奨学金は、次のとおりとする。

- 派遣留学先で住居費を自己負担する者の奨学金は、月額4万円とする。
- 派遣留学先で住居費の負担のない者の奨学金は、月額3万円とする。

2 前項第1号の奨学金に加えて、派遣先の授業料等学納金を自己負担する者については、当該授業料等相当額を一時金として給付することができる。

(給付の期間)

第4条 奨学金は、派遣留学生が渡航した日付を含む月から、留学を終え日本へ帰国した日付を含む月の間支給し、最長支給期間は12カ月とする。

(奨学金給付願)

第5条 派遣留学生で、奨学金の給付を希望する者は、奨学金給付願を提出しなければならない。

(給付の決定)

第6条 奨学金の給付は、学長の推薦に基づき理事長が決定する。

(給付方法)

- 奨学金の給付は、日本に開設の本人名義の銀行口座に振込むことにより行う。
- 奨学金は、「二松学舎大学交換留学に関する規程」第15条第2項に規定する「月例報告書」の提出を確認した後、給付する。
- 第3条第2項の「一時金」は、派遣先授業料等の支払いを証明する書類を確認した後、一括給付する。

(給付の取り消し)

- 奨学金が、派遣留学生の身分を失った場合は、奨学金の給付を打ち切る。
- 身分失効の理由が本人の責に帰す場合は、既に給付した奨学金を、身分失効の理由が発生した日に溯り返還させることがある。

(実施要領)

第9条 本規程に定めるもののほか、必要に応じて実施要領を定める。

(事務担当)

第10条 本規程に関わる事務は、国際交流センターが担当する。

附則

この規程は、平成16年4月1日から施行し、平成17年度の派遣留学生から適用する。

附則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

二松学舎大学派遣留学生（英語圏）への助成制度に関する規程

(2020年11月17日制定)

(目的)

第1条 この規程は、二松学舎大学（以下「本学」という。）が規定する交換留学に関する規程に基づき選考された派遣留学生（以下「派遣留学生」という。）に対して行う、派遣期間中の経費助成に関して必要な事項を定める。

(対象となる海外協定校)

第2条 経費助成の対象となる派遣留学は、相互交流による授業料免除が適用されない英語圏の海外協定校（以下「海外協定校」という。）への派遣留学とする。

(助成の対象人数)

第3条 経費助成の対象となる人数は、派遣先となる海外協定校（以下、「派遣先大学」という。）1校につき毎年度1名とし、全海外協定校の合計数を助成人数の上限とする。

2 選考の段階において、当該年度の派遣留学を行う該当学生がいない海外協定校がある場合は、当該海外協定校についての当該年度の助成対象人数を、他の派遣先大学への派遣留学に対する助成対象人数に加えることができるものとする。

(助成の期間)

第4条 経費助成を行う期間は、原則として当該派遣留学期間1年以内とする。

(助成の区分)

第5条 派遣留学生の英語能力によって、派遣先大学における履修可能なプログラムが異なるため、次の各号に規定する助成区分を設ける。

- 全額助成の派遣留学生
留学期間中に大学正課科目および大学進学準備コース（以下、「大学学部レベル」という。）を履修する者（英語能力の水準が英語能力試験IELTS5.0以上に相当）。
- 一部助成の派遣留学生
留学期間中に大学学部レベルのプログラムを履修せず、英語力向上を目的とする語学研修コース（以下、「英語研修レベル」という。）を履修する者（英語能力の水準が英語能力試験IELTSのスコア5.0未満に相当）。

(助成の内容)

第6条 前条に規定する助成内容は、次の各号のとおりとする。

- 全額助成の派遣留学生
派遣先大学の年間学費から本学の年間授業料を差し引いた差額の全額
- 一部助成の派遣留学生
派遣先大学の年間学費から本学の年間授業料を差し引いた差額の2分の1の金額

(助成区分の変更)

第7条 第5条2号に該当する派遣留学生（一部助成の派遣留学生）が、より上位の大学学部レベルの履修プログラムに在籍することとなった場合は、助成区分を第5条1号に変更するものとする。

- 前項の変更が生じた場合は、当該派遣留学期間（1年間）において助成区分を第5条1号に変更するものとする。
- その他、助成区分に関する複雑な事情が生じた場合は、別途、助成額等について調整するものとする。

二松学舎大学交換留学制度による派遣留学生の単位認定及び履修上の特例について

- ※取扱要領は特例の性質上、変更になることがありますので、詳細は国際交流センターに問い合わせてください。
- ※中国文学科は2025年4月1日から国際日本・中国学科に名称を変更します。

文学部取扱要領

二松学舎大学交換留学制度による派遣留学生の単位認定及び履修上の特例について二松学舎大学交換留学に関する規程第9条により単位を認定すると共に規程第12条により履修上の特例を認める。

1. 派遣留学生派遣の条件について

- 派遣留学生の派遣については、「二松学舎大学交換留学に関する規程」第3条第1項に基づき、「学部にて1年以上在籍し、前年度までに30単位以上修得した者」が出願できるが、文学部においては、派遣留学の直前学期までに以下の条件を満たした者を対象とする。なお、中国語圏の協定校への派遣条件は、原則として3年次以上の者とする。
- 2年次春学期留学…卒業要件単位数30単位以上を修得（見込みを含む）し、「基礎ゼミナール」「文学入門」を修得した者。
 - 2年次秋学期留学…卒業要件単位数46単位以上を修得（見込みを含む）し、「基礎ゼミナール」「文学入門」を修得した者。
 - 3年次春学期留学…卒業要件単位数62単位以上を修得（見込みを含む）し、ゼミナール担当教員の承認を受けた者。
 - 3年次秋学期留学…卒業要件単位数78単位以上を修得（見込みを含む）し、「ゼミナールI A」を修得して、ゼミナール担当教員の承認を受けた者。
 - 4年次春学期留学…卒業要件単位数94単位以上を修得（見込みを含む）し、「ゼミナールI A」「ゼミナールI B」を修得して、ゼミナール担当教員の承認を受けた者。

2. 単位の換算について

本学で認定する単位については、科目毎の授業時間数を本学の計算方法（学則第26条）により換算する。海外留学先大学で修得した単位は、以下により換算する。

① 海外留学先履修科目の単位換算

講義科目	総授業時間数（分）÷60分÷11.25時間＝単位数
演習・実技科目	総授業時間数（分）÷60分÷22.5時間＝単位数

② 海外留学先大学における課外学習時間の実質化

次に示す課外学習時間について、教務委員会での審議により、①で算出した科目別単位数に加えることができる。

課外学習	備考
海外留学先大学で証明がなされた科目別課外学習時間の時間数	ただし、当該科目の授業時間数に比して相応の補足的なものとする。
課外学習時間に作成し、海外留学先大学に提出した各科目のレポート等	適当なレポートがない場合は、教務委員会での審議により、別途作成した授業科目に対するレポートも可能とする。

3. 単位認定の原則について

派遣留学生は、所定の手続きにより海外留学先大学で修得した単位を、本学で修得した単位として認定することができる。単位認定の申請に際し、派遣留学の終了後速やかに成績証明書とシラバス等（全ての授業日時、単位修得条件等が確認できるもの）を提出することとする。
大学学則第48条及び大学院学則第11条により学部においては40単位、大学院研究科においては10単位を上限として、科目区分ごとに一括認定することができる。
海外留学先大学の正課科目（卒業要件単位または修了要件単位への算入が認められている科目）を修得した場合、派遣留学生個人の単位修得状況を勘案し、「卒業研究」を除く全ての科目区分に認定することができる。
留学生向けプログラムの科目（語学コース等）を修得した場合は、授業内容、授業時間数を審査の上、総合教養科目の「外国大科目①～⑤」または総合教養科目の外国語科目および専門科目の外国語科目に認定することができる。この場合の認定単位数の上限は、20単位とする。

4. 科目区分ごとの認定単位数と認定優先順位

必修科目を除き、次の通り科目区分ごとの認定単位数の上限と認定優先順位を定める。ゼミナールの3・4年次配当科目の単位認定については、別に定める。なお、海外留学先大学の正課科目は、同留学生向けプログラムの科目を代替することができることとする。留学生向けプログラムの科目であってもシラバス等により正課科目と同等と判断できる場合には、正課科目として認定区分を扱うことができることとする。

(国文学科)

		2春秋留学	2秋3春留学	3春秋留学	3秋4春留学	4春秋留学
二松学舎共通科目	基礎ゼミナール	—	—	—	—	—
	自校教育科目	—	—	—	—	—
	未来ビジョン科目	—	—	—	—	—
	総合教養科目	④8単位	⑥8単位	⑤8単位	⑤8単位	⑤8単位
文学部共通科目		⑤6単位	⑦6単位	⑥6単位	⑥6単位	⑥6単位
学科共通科目		⑥6単位	⑧6単位	⑦6単位	⑦6単位	⑦6単位
専門科目	専門科目Ⅰ	①18単位	②18単位	②18単位	②18単位	②18単位
	専門科目Ⅱ	—	④10単位	③18単位	③18単位	③18単位
	ゼミナール	②4単位	①特例③4単位	①特例	①特例	①特例
	卒業研究	—	—	—	—	—
他学科・他専門科目		③20単位	⑤20単位	④20単位	④20単位	④20単位

(中国文学科)

		2春秋留学	2秋3春留学	3春秋留学	3秋4春留学	4春秋留学
二松学舎共通科目	基礎ゼミナール	—	—	—	—	—
	自校教育科目	—	—	—	—	—
	未来ビジョン科目	—	—	—	—	—
	総合教養科目	④8単位	⑥8単位	⑤8単位	⑤8単位	⑤8単位
文学部共通科目		⑤6単位	⑦6単位	⑥6単位	⑥6単位	⑥6単位
学科共通科目		⑥10単位	⑧10単位	⑦10単位	⑦10単位	⑦10単位
専門科目	専門科目Ⅰ	①18単位	②18単位	②18単位	②18単位	②18単位
	専門科目Ⅱ	—	④10単位	③18単位	③18単位	③18単位
	ゼミナール	②4単位	①特例③4単位	①特例	①特例	①特例
	卒業研究	—	—	—	—	—
他学科・他専門科目		③20単位	⑤20単位	④20単位	④20単位	④20単位

〔都市文化デザイン学科〕						
		2 春秋留学	2 秋 3 春留学	3 春秋留学	3 秋 4 春留学	4 春秋留学
二松学舎共通科目	基礎ゼミナール	—	—	—	—	—
	自校教育科目	—	—	—	—	—
	未来ビジョン科目	—	—	—	—	—
	総合教養科目	④ 8 単位	⑥ 8 単位	⑤ 8 単位	⑥ 8 単位	⑤ 8 単位
文学部共通科目		⑤ 6 単位	⑦ 6 単位	⑥ 6 単位	⑥ 6 単位	⑥ 6 単位
学科共通科目		⑥ 2 単位	⑧ 2 単位	⑦ 2 単位	⑦ 2 単位	⑦ 2 単位
専門科目	専門科目Ⅰ	① 10 単位	② 10 単位	② 10 単位	② 10 単位	② 10 単位
	専門科目Ⅱ	—	④ 8 単位	③ 14 単位	③ 14 単位	③ 14 単位
	ゼミナール	② 4 単位	①特例 ③ 4 単位	①特例	①特例	①特例
	卒業研究	—	—	—	—	—
他学科・他専門科目		③ 20 単位	⑤ 20 単位	④ 20 単位	④ 20 単位	④ 20 単位

〔歴史文化学科〕						
		2 春秋留学	2 秋 3 春留学	3 春秋留学	3 秋 4 春留学	4 春秋留学
二松学舎共通科目	基礎ゼミナール	—	—	—	—	—
	自校教育科目	—	—	—	—	—
	未来ビジョン科目	—	—	—	—	—
	総合教養科目	④ 8 単位	⑥ 8 単位	⑤ 8 単位	⑥ 8 単位	⑤ 8 単位
文学部共通科目		⑤ 6 単位	⑦ 6 単位	⑥ 6 単位	⑥ 6 単位	⑥ 6 単位
学科共通科目		⑥ 10 単位	⑧ 10 単位	⑦ 10 単位	⑦ 10 単位	⑦ 10 単位
専門科目	専門科目Ⅰ	① 18 単位	② 18 単位	② 18 単位	② 18 単位	② 18 単位
	専門科目Ⅱ	—	④ 10 単位	③ 18 単位	③ 18 単位	③ 18 単位
	ゼミナール	② 4 単位	①特例 ③ 4 単位	①特例	①特例	①特例
	卒業研究	—	—	—	—	—
他学科・他専門科目		③ 20 単位	⑤ 20 単位	④ 20 単位	④ 20 単位	④ 20 単位

5. 「ゼミナールⅠ A・B」「ゼミナールⅡ A・B」の履修の特例について

次のゼミナール履修の特例に基づき、海外留学先大学での修得単位をゼミナールに認定することができる。

① 2 年次秋学期から留学する場合

海外留学先大学での正課科目の修得単位に基づき、「ゼミナールⅠ A」を単位認定することができる。ただし、正課科目目の修得単位による単位認定が認められない場合の帰国後のゼミナールの履修については、ゼミナールの指導教員と協議する。

② 3 年次春学期から留学する場合

海外留学先大学での正課科目の修得単位に基づき「ゼミナールⅠ A」「ゼミナールⅠ B」を単位認定し、4 年次に「ゼミナールⅡ A」「ゼミナールⅡ B」を履修することができる。ただし、正課科目の修得単位が「ゼミナールⅠ A」「ゼミナールⅠ B」への単位認定が認められない場合は、帰国後「ゼミナールⅡ A」および「ゼミナールⅡ B」との並行履修を認める。

③ 3 年次（「ゼミナールⅠ A」修得後）秋学期から留学する場合

海外留学先大学での正課科目修得単位に基づき「ゼミナールⅠ B」および「ゼミナールⅡ A」を単位認定し、4 年次秋学期に「ゼミナールⅡ B」を履修することができる。ただし、正課科目の修得単位が「ゼミナールⅠ B」「ゼミナールⅡ A」への単位認定が認められない場合は、帰国後の秋学期に「ゼミナールⅠ B」を履修し、次年度に「ゼミナールⅡ A」「ゼミナールⅡ B」を履修する。

④ 4 年次（「ゼミナールⅠ A」「ゼミナールⅠ B」修得後）春学期から留学する場合

海外留学先大学での正課科目修得単位に基づき「ゼミナールⅡ A」「ゼミナールⅡ B」を単位認定することができる。ただし、正課科目の修得単位が「ゼミナールⅡ A」「ゼミナールⅡ B」の単位認定が認められない場合は、次年度に「ゼミナールⅡ A」「ゼミナールⅡ B」を履修する。

6. 卒業研究の取り扱いについて

4 年次に留学する場合、「卒業研究」は各種通信手段等により指導を受ける。卒業研究提出までの各種手続きについては、派遣留学生が国際交流センターと連絡を取り合い期日までに提出するものとする。面接試験についても同様とする。

別表 留学生プログラム科目の修得により認定される外国語科目

〔総合教養科目〕	
総合英語Ⅰ A（コミュニケーション）	フランス語① A
総合英語Ⅰ B（コミュニケーション）	フランス語① B
総合英語Ⅱ A（TOEIC）	フランス語② A
総合英語Ⅱ B（TOEIC）	フランス語② B
総合英語Ⅲ A（映画）	ロシア語① A
総合英語Ⅲ B（映画）	ロシア語① B
総合英語Ⅳ A（グローバル化）	ロシア語② A
総合英語Ⅳ B（グローバル化）	ロシア語② B
総合英語（文）A	中国語① A
総合英語（文）B	中国語① B
短期海外研修①	中国語② A
短期海外研修②	中国語② B
短期海外研修③	韓国語① A
短期海外研修④	韓国語① B
ドイツ語① A	韓国語② A
ドイツ語① B	韓国語② B
ドイツ語② A	
ドイツ語② B	

〔専門科目〕						
中国語中級会話①	国文・中文	韓国語中級表現③	中文	韓国語上級表現③	中文	
中国語中級会話②	国文・中文	韓国語中級表現④	中文	韓国語上級表現④	中文	
中国語中級会話③	中文	韓国語中級読解①	中文	韓国語上級読解①	中文	
中国語中級会話④	中文	韓国語中級読解②	中文	韓国語上級読解②	中文	
中国語中級表現①	中文	韓国語中級読解③	中文	ビジネス韓国語①	中文	
中国語中級表現②	中文	韓国語中級読解④	中文	ビジネス韓国語②	中文	
中国語中級表現③	中文	中国語上級読解①	中文			
中国語中級表現④	中文	中国語上級読解②	中文			
中国語中級読解①	中文	中国語上級読解③	中文			
中国語中級読解②	中文	中国語上級読解④	中文			
中国語中級読解③	中文	中国語上級会話①	中文			
中国語中級読解④	中文	中国語上級会話②	中文			
韓国語中級会話①	国文・中文	中国語上級表現①	中文			
韓国語中級会話②	国文・中文	中国語上級表現②	中文			
韓国語中級会話③	中文	韓国語上級会話①	中文			
韓国語中級会話④	中文	韓国語上級会話②	中文			
韓国語中級表現①	中文	韓国語上級表現①	中文			
韓国語中級表現②	中文	韓国語上級表現②	中文			

国際政治経済学部取扱要領

「二松学舎大学交換留学に関する規程」第 9 条により、派遣留学生が協定校で学習した内容について、下記の要領で単位を認定するとともに、同規程第 12 条により履修上の特例を認める。

1. 単位の認定について

海外留学先大学で修得した単位は、大学学則第 48 条に基づき、40 単位を上限として以下のとおり科目区分に対して認定する。すなわち、海外留学先履修科目毎の授業時間数を (1) により換算した上で、(2) により本学科目区分毎の単位数を計算する。さらに、(3) による 1 未満の端数の切り上げを認める。認定された科目区分の成績評価は、すべて「Z」（他大学等による単位認定）とする。なお、単位認定のプロセスは (4) による。

(1) 海外留学先履修科目の単位換算

講義科目	総授業時間数（分）÷ 60 分 ÷ 11.25 時間 = 単位数
演習・実技科目	総授業時間数（分）÷ 60 分 ÷ 22.5 時間 = 単位数

ただし、本学 1 学期間（授業期間）に相当する場合は 2 単位を上限とし、通年相当の場合は 4 単位を上限とすることを原則として、留学期間・海外留学先大学の学期制度（3 学期制・クォーター制等）を加味する。

(2) 科目区分毎の単位数計算

(1) で算出した各科目の単位数に基づき、以下のとおり科目区分毎の単位数を計算する。

ア) 海外留学先大学で正課科目（協定校において卒業要件単位への算入が認められている科目）の単位を修得した場合

派遣留学生個人の単位修得状況を勘案し、留学からの帰国時点での当該学生の学年において本学にて履修可能である科目区分（ただし、進級要件に係る必修科目は除く。また、ゼミナールの履修と単位認定については、4. による）に充当することができるものとし、該当科目の単位数を科目区分毎に合算する。

イ) 留学生向けのプログラム（語学コース）等の科目の単位を修得した場合

総合教養科目、語学教育科目として 20 単位を上限に認定することとし、該当科目の単位数を合算する。なお、留学生向けプログラムの科目であってもシラバス等により正課科目と同等と判断できる場合には、正課科目として認定区分を扱うことができることとする。

ウ) 認定単位の上限

表語については以下のとおりとする。

		配当年次	要件単位	2 年留学	3 年留学	4 年留学
二松学舎共通科目	総合教養科目	1 年次	8 単位	8 単位	8 単位	8 単位
語学教育科目		1・2 年次	4 単位	4 単位	4 単位	4 単位
専門科目	専門科目Ⅰ	2 年次	16 単位	12 単位	12 単位	12 単位
	専門科目Ⅱ	3・4 年次	26 単位	—	26 単位	26 単位
	専門ゼミナール	3・4 年次	8 単位	—	特例	特例
他学科・他専門科目		2～4 年次	政 16 単位 営 20 単位	政 16 単位 営 20 単位	政 16 単位 営 20 単位	政 16 単位 営 20 単位

ただし、表中記載の学年は帰国時点での学年を指す。

(3) 海外大学における課外学習時間の実質化

次に示す課外学習時間について、教務委員会での審議により、科目区分別単位数の 1 未満の端数を切り上げる。

海外留学先大学で証明がなされた科目別課外学習時間の時間数	ただし、当該科目の授業時間数に比して相応の補足的なものとする。
課外学習時間に作成し、海外留学先大学に提出した各科目のレポート等	適当なレポートがない場合は、教務委員会での審議により別途作成した授業科目に対するレポートも可能とする。

(4) 単位認定プロセス

留学生は、各学期開始後速やかに、履修科目とシラバス等（全ての授業日時、単位取得条件等が確認できるもの）を提出する。また、「二松学舎大学交換留学に関する規程」第 9 条に基づき、帰国から 14 日以内に次の書類を提出する。

単位認定申請書	所定の書式
履修科目毎の年間授業時間数及び単位数を証明する書類	年間授業時間数については、履修科目毎に、開講学期毎の全ての授業日時、単位修得条件等が確認できるシラバス等の書類が望ましい。
「海外大学における課外学習時間の実質化」のための書類	所定の書式

2. 留学後の 3 年次への進級について

(1) 2 年次春から留学する場合は、ア) 本学において履修する必修科目に関する進級要件を満たしており、イ) 本学で修得した単位数及び海外留学先で修得し本学で認定した単位数の合計が 40 単位以上である場合、3 年次へ進級する。

(2) 2 年次秋から留学する場合は、2 年次春学期までに進級要件を満たしている場合、3 年次へ進級する。なお、3 年次への進級に必要な必修科目・単位数等は国際政治経済学部履修要項を参照すること。

3. ゼミナール履修の特例について

〔国際政治経済学科〕	
2 年次春学期から留学する場合	3 年次春学期に「イングリッシュセミナー A」と「ゼミナール① A」、3 年次秋学期に「イングリッシュセミナー B」と「ゼミナール① B」を並行履修する。
2 年次秋学期から留学する場合	3 年次秋学期に「イングリッシュセミナー B」と「ゼミナール① B」、4 年次春学期に「ゼミナール① A」と「ゼミナール② A」を並行履修する。
3 年次春学期から留学する場合	4 年次に「ゼミナール① A・B」と「ゼミナール② A・B」を並行履修する。
3 年次秋学期から留学する場合	ゼミナール指導教員と事前に相談の上、以下のとおりとする。 ・本学においては、3 年次春学期に「ゼミナール① A」、4 年次秋学期に「ゼミナール① B」及び/または「ゼミナール② B」を履修する。 ・留学に伴い本学にて受講できないゼミナール科目（ゼミナール② A（及びゼミナール① B またはゼミナール② B）の単位については、留学時においてゼミナール指導教員からオンライン等で当該ゼミナール科目に関する指導を受けることを前提に、留学先正課科目にて修得した単位から認定する。
4 年次春学期から留学する場合	ゼミナール指導教員と事前に相談の上、以下のとおりとする。 ・本学においては、3 年次に「ゼミナール① A・B」を履修する。 ・留学に伴い本学にて受講できないゼミナール科目（ゼミナール② A・B）の単位については、留学先においてゼミナール指導教員からオンライン等で当該ゼミナール科目に関する指導を受けることを前提に、留学先正課科目にて修得した単位から認定する。 ・「卒業論文」を作成する場合は、ゼミナール指導教員からオンライン等で指導を受ける。

〔国際経営学科〕	
2 年次春学期から留学する場合	3 年次春学期に「キャリアゼミナール」と「ゼミナール① A」、3 年次秋学期に「プレゼミナール」と「ゼミナール① B」を並行履修する。
2 年次秋学期から留学する場合	3 年次秋学期に「プレゼミナール」と「ゼミナール① B」、4 年次春学期に「ゼミナール① A」と「ゼミナール② A」を並行履修する。
3 年次春学期から留学する場合	4 年次に「ゼミナール① A・B」と「ゼミナール② A・B」を並行履修する。
3 年次秋学期から留学する場合	ゼミナール指導教員と事前に相談の上、以下のとおりとする。 ・本学においては、3 年次春学期に「ゼミナール① A」、4 年次秋学期に「ゼミナール① B」及び/または「ゼミナール② B」を履修する。 ・留学に伴い本学にて受講できないゼミナール科目（ゼミナール② A（及びゼミナール① B またはゼミナール② B）の単位については、留学時においてゼミナール指導教員からオンライン等で当該ゼミナール科目に関する指導を受けることを前提に、留学先正課科目にて修得した単位から認定する。 ・「卒業論文」を作成する場合は、ゼミナール指導教員からオンライン等で指導を受ける。



二松学舎大学

二松学舎大学 国際交流センター 九段キャンパス5号館5階

〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16 TEL : 03-3261-5751

E-mail : icenter1@nishogakusha-u.ac.jp URL : www.nishogakusha-u.ac.jp

